

報告第 9 号

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の経営状況について

地方自治法第243条の3第2項の規定により、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の平成29年度収支決算及び平成30年度事業計画を別紙のとおり提出する。

平成30年 6 月 7 日

調布市長 長 友 貴 樹

平成29年度決算報告書及び
平成30年度事業計画

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

目 次

平成29年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告

1	概要	1
2	事業内容	10
(1)	展示事業	10
(2)	普及事業	11
(3)	資料収集・管理事業	19
(4)	資料整理・保存事業	22
(5)	閲覧サービス・情報公開事業	24
(6)	調査・研究事業	25
(7)	自主事業	27
(8)	施設管理運営事業	28
3	平成29年度調布市武者小路実篤記念館利用状況	29
	実篤記念館利用者数	29
4	役員・会議に関する事項	30
(1)	役員名簿（平成30年3月31日現在）	30
	ア 理事及び監事	30
	イ 評議員	30
(2)	会議の開催	30
	ア 理事会	30
	イ 評議員会	31
	平成29年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支計算書	32
	平成29年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館正味財産増減計算書	36
	平成29年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館貸借対照表	39
	平成29年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館財産目録	40
	平成29年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館財務諸表に対する注記	41
	監査報告書	42

平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画

1	はじめに	43
2	基本方針	44
(1)	事業運営の基本方針	44
(2)	施設の管理運営の基本方針	45
(3)	法人運営の基本方針	45
3	平成30年度重点事業	46

4 事業内容	49
(1) 展示事業	49
(2) 普及事業	49
(3) 資料収集・管理事業	53
(4) 資料整理・保存事業	54
(5) 閲覧サービス・情報公開事業	54
(6) 調査・研究事業	55
(7) 自主事業	56
(8) 施設管理運営事業	57
平成30年度調布市武者小路実篤記念館 展覧会日程	59
平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支予算書	60

平成29年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告

1 概要

平成29年度は、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館（以下「財団」という。）が発足して5年目を迎え、指定管理者としての業務受託は4年目となりました。

調布市武者小路実篤記念館は、その設立理念に基づき、これまでの実績と信頼を活かしながら、市民が広く誇り得る文化の拠点として、身近で、親しみのある教育、芸術・文化の場となるように努め、より良質で魅力のある事業を展開して参りました。また、組織運営の面においては、効率的であることはもとより、安定性及び継続性のある組織運営体制を構築するよう努めて参りました。

財団では、平成29年度は次のとおり事業目標を設定するとともに、組織・運営体制を固めながら積極的に事業を展開して参りました。

<事業目標>

1 武者小路実篤の顕彰

年7回の展示事業、武者小路実篤及び周辺資料の積極的な収集、整理、保存及び調査研究を継続的に実施します。

2 実篤記念館のブランド化（日本で唯一の実篤研究の情報収集発信基地）

武者小路実篤の顕彰をベースに、「情報収集発信基地」としての機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤、白樺、新しき村の研究施設」を目指します。

3 次代を担う子どもたちへのアプローチと利用の拡大

学校教育において活用しやすい環境を整えるなど、子どもたちへの積極的な働きかけにより、未来の来館者の育成と人間愛・郷土愛を育む取組を実施します。

4 実篤記念館と実篤公園を活用した事業展開

実篤記念館及び実篤公園について、より効率的で柔軟な運営体制の構築を目指し、実篤公園と一体となった事業展開や動線の改善など、相乗的な魅力の向上を図ります。

5 館の外へとつなげる事業

実篤記念館から外へ出て、武者小路実篤の活動や魅力、幅広いジャンルで数多い収蔵品による展覧会や講座の開催、関係機関との協力事業を活発にし、新たに独自ツイッターを始めとした情報を発信するなど、認知度を高め、多くの人とつながる様々な事業を展開します。

<組織・運営目標>

1 安定した組織づくり並びに組織の透明性及び信頼性の向上を図るとともに、効率的で効果的な運営に努めます。

2 実篤記念館が目指す将来像（事業目標）を実現するための事業について、継続性を持って

実行します。

- 3 安定した法人運営を行うために、職員の人材育成を促進します。
- 4 財団としての自主性を発揮し、事業の幅と奥行きを広げ、すべての市民が利用できる施設として、来館者一人一人が満足してもらえるサービスを提供します。
- 5 財団は中期・長期的な展望に立ち、実篤記念館の新たな時代に向けた計画づくりを進めます。

実施した主な事業につきましては、以下のとおりです。

(1) 展示事業

展示事業は事業の中心であり、平成29年度は春・秋2回の特別展と収蔵品によるテーマ展を5回開催しました。

春の特別展「武者小路実篤の出版事情～『白樺』『大調和』を中心に～」では、常に書きたいことにあふれ、発表の場として生涯を通して雑誌を主宰し続けた実篤の出版活動をテーマとしました。原稿や書簡、著書や主宰雑誌に加え、編集実務や雑誌経営の実情、活字や金型・紙型など明治・大正時代の製版や印刷の技術に関する現物資料や記録など、紹介される機会がほとんどないものも取り上げたことから、来館者のみならず研究者からも高い評価を得ました。

秋の特別展「素直に楽しむ 武者小路実篤と民藝」は、平成28年度の空調改修工事に伴う休館期間を活用し、日本民藝館の協力を得て、実篤愛蔵品に100点余含まれる民藝・工芸作品を調査した成果を受けて開催しました。これまで取り上げて来なかった実篤愛蔵の民藝品を改めて評価するとともに、実篤とともに『白樺』を創刊し生涯親交があった民藝の提唱者・柳宗悦の収集品とともに展示したことで、各々の美意識の共通性と違いを紹介しました。

2回の特別展では従来の利用者層のほかに、春は出版や印刷について、秋は民藝・工芸や柳に関心がある層の来館につながることができました。

また、5回の企画展では、幅広い武者小路実篤の活動を紹介していくため、ひとつひとつに多角的なテーマを設けました。秋季展「人を描く、人を書く」では実篤が家族や友人などを絵や文章でどのように表現したか、企画展「画家の手紙 制作と友への思い」では交友のあった人々からの書簡から実篤の位置づけや評価、企画展「実篤の言葉～画讀と詩を中心に～」では広く親しまれている人を前向きにする言葉、春季展「筆の向くまま～実篤の自筆原稿～」では自筆原稿でなければ伝わらない作者の思考の跡などを、それぞれ紹介しました。

夏に開催したオンラインゲーム「文豪とアルケミスト」とのコラボレーション企画（普及事業で後述）では、交友のあった人物との関係性や言葉、書簡や原稿など自筆の資料に対する来場者の関心が集まり、企画終了後の展示の内容も新たな来館者層のニーズに合致したため、リピーターの獲得につながりました。

平成29年度より、郷土博物館と展示事業での連携を深め、夏休み企画では、郷土博物館との

共催コーナー「実篤公園は縄文遺跡だった？」を設けて、出土品などを展示し、郷土博物館学芸員が解説を執筆しました。また、郷土博物館においても企画展「おもちゃを愛でる～調布市ゆかりの作家と郷土玩具」で、実篤が描いた郷土玩具の絵などが展示されました。

新しき村が平成30年11月に100周年を迎えるのを機に、宮崎県の日向新しき村と同じ児湯郡にある高鍋町美術館が企画した特別展「武者小路実篤 新しき村 人間萬歳」では、展覧会全般について当財団が業務を受託し、開催されました。実篤が新しき村創設の地に選んだ地元での開催は、多くの来場者が実篤を再認識する機会となり、また九州では初めての本格的な武者小路実篤展として宮崎県外からも大勢訪れており、武者小路実篤を広く顕彰する絶好の機会となりました。

(2) 普及事業

ア 講演会・講座等事業

初めての試みとして、外部とのコラボレーション企画を実施しました。8月2日から8月27日までの期間、武者小路実篤がキャラクターとして登場するオンラインゲーム「文豪とアルケミスト」とのコラボレーション企画では、展覧会コラボクイズの実施、キャラクターパネルの展示、声優による詩「進め、進め」朗読音声の放送、イベント限定グッズの販売、来館者全員にゲーム内アイテム「南瓜の書画」のシリアルナンバーのプレゼントなどを行いました。期間中の来場者は例年の同時期の3.4倍にのぼり、その多くは20～30代の女性で、従来実篤記念館にあまり来館しない層が訪れました。来場者は展示など実篤記念館の事業の内容に深い関心を寄せ、熱心に鑑賞する様子が見られ、コラボレーション期間終了後も繰り返し来館する方も少なくありませんでした。今後こうした新たな利用者に対して、武者小路実篤への関心を継続し、より深めていただけるよう、事業展開に取り組んで参ります。

春の特別展「武者小路実篤の出版事情～『白樺』『大調和』を中心に～」においては、展示に合わせて研究者・田中英夫氏を講師に迎え、講演会『『白樺』を支えた洛陽堂主人 河本亀之助』を開催しました。出版や出版社に関する研究成果を知る機会は少ないことから、参加者の高い満足度を得ることができました。

秋の特別展「素直に楽しむ 武者小路実篤と民藝」では、実篤愛蔵の民藝・工芸品の再調査に御協力いただいた日本民藝館の学芸部長・杉山亨司氏を講師に迎え、講座「民藝と柳宗悦と武者小路実篤」とギャラリートークを実施しました。民藝の専門家としての深い知識に裏付けられたお話は、多くの参加者から好評を博しました。

読書講座では、実篤の代表作「友情」の読書感想文を手がかりに、発表されてから約100年の時が経過する中で、各時代と世相による受け止めかたの変遷という受容史の視点から作品を再評価し、「専門性が高いにも関わらず大変理解しやすい講座であった。」との感想が寄せられました。

夏休み自由研究サポートの実施期間中は、毎日館内が子どもたちの活気で溢れ、この事業が定着してきたことをうかがい知ることができました。平成29年度は、夏休み自由研究サポート

の成果品を学校に提出することができるよう、ワークシートに記入して冊子にまとめる「実篤事典を作ろう」を新しくメニューに加えました。

また、年間を通して、各展覧会のより深い鑑賞を促し、理解を深める工夫に力を入れました。秋季展「人を描く、人を書く」ではワークシートに気付いた事を書き込んで持って帰ることができる「ちょこっとメモする展覧会鑑賞ノート!」、秋の特別展「素直に楽しむ 武者小路実篤と民藝」では手に取って展示を見ることができる「展覧会をじっくり見るためのヒントカード」、春季展「筆の向くまま～実篤の自筆原稿～」では展示を見なければ解けないマニアッククイズを設置しました。また、企画展「実篤の言葉～画讃と詩を中心に～」では入館の際に「実篤の言葉おみくじ」を引いてもらい、展示室でその言葉を探し、おみくじとして実篤の言葉を持って帰れるようにし、いずれも好評でした。

高鍋町美術館の特別展「武者小路実篤 新しき村 人間萬歳」では、当館学芸員がギャラリートークを行い、近隣のみならず他県からも参加者があり、実篤記念館から遠い地域で実篤について知ってもらう良い機会となりました。

普及事業では、全般的に「武者小路実篤を核とした特色ある事業」として幅広い世代に対し良質な事業を提供することに努めるとともに、身近で親しみのある教育、文化・芸術の場として、魅力ある事業を実施しました。

イ 学校教育との連携事業

毎年、市内小・中学校の児童・生徒全員に配布している夏休み行事案内チラシでは、表紙のイラストを平成29年度も引き続き第四中学校の美術部に依頼しました。また、配布については郷土博物館と連携し、仕分け・配布を分担しました。

学校の授業への協力では、平成11年度から行われている若葉小学校4年生の展覧会鑑賞授業において、平成29年度も鑑賞教育の方法を取り入れ、ワークシートの作成から関わり、作品をじっくり見て発見し、感じたことをクラスで共有するように指導しました。

平成24年度から実施している中学校の図書室でのパネル展示は、平成29年度は第四中学校、第六中学校、第八中学校で実施しました。更に生徒の読書につなげるため、現在も文庫本で読むことができる「愛と死」「真理先生」及び詩を紹介するパネルを新たに制作しました。

実篤記念館が持つ文学、美術、自然、実篤の人物と生涯などに関する情報など、様々な要素を活用して、児童・生徒に、感性を磨き、自身で考える力と豊かな心を育むことができるような、多様な体験を提供する事業を展開し、次世代利用者の育成と利用の拡大を図りました。

ウ ボランティア事業

ボランティア活動は、「ガイド」「普及事業サポート」「環境整備」の3グループで活動しております。

ガイドグループによるボランティアガイドはすっかり定着し、利用者も多く、利用者・ボランティア双方とも満足度の高い活動となっています。平成29年度からの実施日については、原則として毎週末とし、土曜日・日曜日を交互に行うようにしました。

普及事業グループは、「実篤に挑戦！～筆と墨で絵をかこう～」をボランティアが主体となって運営し、また平成27年度から行っているボランティア朗読では、平成29年度は展示解説に合わせて行うものと、他会場で財団職員が講師となって開催する講座の中で行う形とで実施しました。この形式は知識の習得と鑑賞が合わせてできると、参加者から好評を得ました。

環境整備グループは、中庭の花の手入れのほか、平成29年度後半から実篤公園の菖蒲園の手入れを始めました。このほか、資料の保存環境維持のための防虫対策、旧邸や屋外展示物の清掃など、維持管理にも御協力いただいています。

エ 友の会事業

友の会は実篤記念館と来館者や実篤ファンを結ぶものであり、会員の増強と事業の充実に努め、会員に各種情報を提供する友の会ニュースを定期的に発行しました。

オ 広報事業

実篤記念館の事業活動と、実篤記念館と実篤公園の幅広い魅力をより多くの方々に知ってもらうために、広報に積極的に取り組みました。

これまでツイッターは調布市のアカウントを利用してきましたが、オンラインゲーム「文豪とアルケミスト」とのコラボレーション企画に際し、ゲームユーザーが情報源をツイッターに頼る傾向が強いことに鑑みて、これを機会に当館独自アカウントの試験運用を開始しました。来館に関して状況に即応した情報発信と、興味関心を持続するために実篤に関するきめ細かい情報提供に努めました。

「ぐるっとパス事業」では、〈東京・ミュージアムぐるっとパス2017〉事業に参加することにより、実篤記念館の活動の周知と、広報の拡充を図りました。

「印刷物編集・刊行事業」では、広く武者小路実篤への理解を深めるために特別展パンフレット、小・中学生向けの解説シート、記念館事業を紹介する館報などの刊行物を編集・刊行しました。

また、平成28年度に刊行した実篤画集が好評で売行きが伸び、在庫が少なくなったため増刷を行いました。

(3) 資料収集・管理事業

ア 資料収集事業

実篤記念館事業の一層の充実に努めるためには、収蔵品の充実は必要不可欠であり、美術作品、原稿、書簡類、図書などの関係資料の収集に努めております。財団では引き続き各種資料情報を集め、寄贈・寄託等の手続きを行うとともに、図書・雑誌等の購入業務を行いました。

平成29年度は、これまで寄託を受けていた実篤の原稿1点を調布市美術作品等取得基金で購入したのをはじめ、各方面から計691点の寄贈を含めて、842点を収集しました。これらの収集実績は、永年の実績から信頼を得た結果によるものです。

イ 資料管理事業

指定管理業務として、引き続き所蔵作品の貸出に関わる申請・承認や貸出作業、特別撮影への

対応や、貴重な作品のために動産保険の加入手続き等を行いました。

(4) 整理・保存事業

収集した作品・資料を速やかに整理して、良好な状態で保存し、貴重な作品・資料を後世に伝えるよう努めました。

(5) 閲覧サービス・情報公開事業

ア 閲覧サービス事業

閲覧室での開架図書を中心とする一般閲覧業務、レファレンス業務では、利用者のニーズをくみ上げる丁寧な対応を心がけ、資料の活用促進を図りました。また、展覧会や事業にあわせて図書の紹介をするなど、資料利用のフロントとしてサービスの充実に努めました。

また、開架図書や貴重な自筆作品に対する特別閲覧やレファレンス業務では、所蔵資料と実篤及び『白樺』の美術活動に関する専門的な知識と情報を活用し、高度な質問や閲覧にも対応しました。

イ 情報公開事業

コンテンツや情報の充実に努めるとともに、より多くの方々に収蔵品情報、事業、実篤関連情報、事業記録などを知ってもらうために、情報提供システム（収蔵品データベース、情報閲覧システム、映像視聴システム、ホームページ）の運用を引き続き進めました。

(6) 調査・研究事業

特別展及び企画展に関連する所蔵資料や個人・他館所蔵資料の調査を実施しました。これまでの調査で蓄積してきた情報を活用し、他の文学館や美術館、研究機関の協力を得ながら、「武者小路実篤、白樺、新しき村」に関する情報センターとしての役割を担うべく、調査・研究活動を進めました。

平成29年度は、前年度から引き続き実篤の愛蔵美術品コレクションのうち民藝品について、日本民藝館の協力を得て調査を実施し、その成果を秋の特別展に反映しました。

平成30年11月に創立100周年を迎える新しき村については、調査と記録を進めており、平成29年度は日向新しき村での現況調査を行いました。また、100周年に向けて映像作品を制作するため、埼玉・日向の両新しき村の記録映像を撮影するとともに、宮崎県の地方新聞などの過去の記事などを調査・収集しました。

また、平成29年度に寄贈を受けた茶谷定子氏旧蔵資料及び関口敏子氏旧蔵資料などから、書簡66点の翻刻を行いました。

このほか、白樺同人で作家の長與善郎氏に関する資料を調査のため借用しました。今後、整理と調査を進めて参ります。

(7) 自主事業

ア 物品販売事業

ミュージアムグッズの販売を通して、広く実篤作品の魅力や実篤記念館の活動の周知と認知度を高め、自主財源を増やすとともに、特別会計を設けて会計の透明化を図りました。その収

益は、自主事業（朗読会、観梅会）の充実や魅力あるミュージアムグッズ作りにあて、普及事業の更なる充実をサポートしました。

また、例年1月～2月に販売しているオリジナル限定チョコレートを、高鍋町美術館で開催した特別展「武者小路実篤 新しき村 人間萬歳」会場で平成29年11月から先行販売しました。実篤記念館では例年と同様にバレンタインシーズンに販売したところ、バレンタインデーを待たず2月8日に完売となり、予想を上回る売行きとなりました。このほか、要望の多かった絵はがきと人気のあるクリアファイルに新しい絵柄を追加製作しました。

イ 自主事業

自主財源を確保するために、駐車場に飲料の自動販売機を設置し、その収益を一般会計事業に活用しました。また、記念館隣接道路に設置した案内掲示板にて広告料収入等を得て自主事業の充実に役立てました。

自主事業として、平成30年2月に地域連携・博学連携の一環として、桐朋学園等と協力した観梅のつどいコンサートを開催しました。また、平成27年度から従来の朗読会から参加型に発展させて実施している朗読ワークショップを3月にせんがわ劇場と共催で開催しました。このほか、二次資料の写真資料等の貸出の対応を行いました。

(8) 施設管理運営事業

ア 実篤記念館施設管理運営

指定管理業務としての実篤記念館施設管理運営業務では、人命の尊重に十分注意を払い、施設の維持保全、安全・快適・清潔な施設の維持管理に努めました。開館から32年が経過し、施設や設備の老朽化による不具合が多くなってきております。展示ケース内の照明器具交換修繕と中庭の排水の改善をはじめ、必要な修繕を実施しました。また、収蔵庫の二酸化炭素消火設備のガス弁の取替えについて、3箇年計画の2年目分を実施しました。

貴重な所蔵作品や資料を、永く後世に伝えていくために、平成29年度は隔年で実施している収蔵庫の燻蒸作業を行い、作品・資料の良好な状態を確保するとともに、日常的に収蔵環境の状態を把握して、保全に努めました。

利用者からの要望の高い案内誘導サインについては、調布市公共サイン整備ガイドラインに基づきデザインの統一を図り、改修に取り組みました。

年間を通して、来館者に対して展示や施設に関するアンケートを実施し、来館者の意見を取入れる努力をし、満足度の高い施設としての維持管理及びサービスの提供に努めました。また、ミュージアム・アドバイザーから施設や事業運営について様々な提案をいただきました。これらを今後の記念館運営に役立てて参ります。

イ 実篤公園日常管理

調布市より受託した実篤公園の日常管理業務は4年目となりました。実篤公園は国分寺崖線にあり、湧水と武蔵野の自然が残っています。旧実篤邸についても、実篤が実際に生活していた場として多くの利用者が高い関心を寄せる建築物です。誰もが安心、安全に公園を利用でき

るように、公開に関する業務、清掃や警備など、公園と旧実篤邸の日常管理を行いました。また、公園の樹木や園路、旧実篤邸の建物の状況を常に把握し、必要に応じて調布市緑と公園課と協議して日常管理に努めました。

(9) 平成29年度の総括

平成29年度は、財団が指定管理者となって4年目となりました。魅力ある事業展開を図るべく施設の機能を十分に活かしながら効率的・効果的な運営を進めるとともに、実篤公園の日常管理業務も受託し、記念館と実篤公園を一体的に管理運営することで、利用者サービスの向上と、満足度の向上を図りました。

平成29年度は、外部との連携に力を注ぎ、オンラインゲーム「文豪とアルケミスト」とのコラボレーション企画を開催し、高鍋町美術館の特別展「武者小路実篤 新しき村 人間萬歳」の開催を受託しました。また、調布市内においても、平成28年度に実施した公民館との共催事業に続き、郷土博物館と展示を共催するなど、他施設との連携を深めました。このほか、財団職員が近隣市や民間の団体から依頼を受けて、武者小路実篤に関する講座等の講師を務めるなど、外部との協働による事業を積極的に展開しました。これによって、これまで実篤記念館をあまり利用しなかった層や遠隔地の人々に、広く武者小路実篤の業績を顕彰し、実篤記念館を周知することができました。

外部との連携によって獲得した新たな利用者に対して、興味を持続してもらうため、展示や普及事業の内容をそのニーズに応えるものとし、また、ツイッターの独自アカウントの運用によって、求められる情報を即時に発信する取組を行いました。その成果として、平成29年度の年間利用者数が、実篤記念館の入館者数11,233人、公園を含む総利用者数41,120人となり、過去最高であった平成27年度の入館者数9,956人、総利用者数37,149人に対して大きく増加しました。

オンラインゲーム「文豪とアルケミスト」のユーザーは、文学作品を読んだり興味を持ったことについて文献を調べたりすることへの関心が強く、ゲームユーザーの来館によって閲覧室の利用者が増加しました。年間の閲覧室利用者数が、過去最高であった平成26年度の4,101人に対し、平成29年度は5,037人となりました。これはデータベースの利用者数にも現れ、昨年度に対して年間利用者数が9倍に急増しており、館業務の中で11月以降データの修正入力を行ったことにより検索数が増加したことを差し引いても、大幅な利用の増加につながりました。

実篤記念館が所蔵する武者小路実篤に関する文献や情報への期待が高まっており、こうしたニーズに応じて「実篤、白樺、新しき村の研究施設」としての役割を果たし、武者小路実篤に関する収蔵資料の利用を促進するためにも、収集・整理・データ化と情報公開に努めました。

また、ホームページのアクセス数・訪問者数ともに平成28年度に対して1.6倍となり、7月から運用を始めたツイッターの独自アカウントは平成29年度末までに約1,000人からフォローされました。来館者アンケートでも、実篤記念館をインターネットで知ったという回答が全年代層で目立つようになってきており、ますますインターネットにおける実篤記念館に係る情

報の発信が重要となってきています。

事業全般にわたり「敷居は低く（気軽に参加）、間口は広く（幅広いジャンルからのアプローチ）奥行きは深く（専門的な内容にも対応）」を指針として、展示・普及事業を中心に展開して参りました。また、利用者ニーズを的確に把握して事業に取入れながら、事業の広報活動に力を注ぎ、より多くの方に知ってもらう機会を増やし、事業活動の更なる充実に努めました。

施設管理事業では、近年施設と設備の経年劣化による各種の不具合が顕著になっています。利用者の安全性、快適性を維持するとともに、所蔵している武者小路実篤関連の資料や作品を、永く後世に伝えて行くための展示及び保存環境を確保し、利用者が良好な状態のもとで鑑賞できるように、施設と設備の日常管理に努めました。平成29年度は、3箇年計画の2年目として収蔵庫の二酸化炭素消火設備のガス弁の取替えをはじめ、隔年の収蔵庫燻蒸消毒の実施、また、以前より懸案であった中庭の排水改善工事と、展示ケース内の照明器具交換修繕を実施しました。更に、利用者に分かりやすい案内サインの改修に引き続き取り組みました。

自主事業では、ゲームコラボレーション企画に訪れた来場者が文庫本を多く購入し、文学作品を読んでもらうことにつながりました。ミュージアムグッズのうち、毎年バレンタインシーズンに販売する限定チョコは、高鍋町美術館で先行販売したことにより、新しい利用者層にアピールすることができ、実篤記念館での発売前から待望されることとなりました。その結果、予想を超えた売れ行きとなり、早期に完売となりました。このように、販売事業は、広く実篤作品の魅力や実篤記念館の活動の周知と認知度を高めることに貢献しました。また、これら物販事業の収入を事業活動の充実に活用し、新しいグッズの開発や観梅会、朗読ワークショップなどを開催しました。

人材育成では、平成29年度は正職員が幅広い業務経験を積むことにより、財団の事業運営の力となるような配置に努めました。学芸員として10年以上の経験がある中堅職員を、財団経営に関わる業務を経験させるため総務係に配置し、総務係で2年間業務に携わった若手職員（学芸員有資格者）を、学芸業務を経験させるため事業係に配置しました。

また、専門性を高めるために、若手の職員が国や博物館・文化財に関わる公益財団等で実施される研修会である、文化財IPM（総合的有害生物管理）、博物館における照明研修、ミュージアムエデュケーター、調布市役所が開催した広報研修、東京都美術館のボランティア活動である「とびらプロジェクト」に関するフォーラム、また、管理職を対象とした全国美術館会議小規模館研究部会の研修会「美術館と文学館との連携」に参加し、博物館施設の職員としての技術を習得するとともに、今日的な課題や動向について学習と情報収集に努めました。このほか、引き続き、若手職員が総合的な力を身に付けるため、経験を積んだ職員の指導を受けながら、展示・普及事業を担当することで知識や展示・表現方法の技術を継承し、また、館内で定期的に勉強会を行い、学芸員の質の向上を図りました。

2 事業内容

(1) 展示事業

事業名	実施日	入場者 (人)	備考
春季展「自然は美を愛す」 ～実篤書画展～	平成29年3月18日 ～4月23日	大人 532 子ども 27 計 559	20日 (4月分のみ)
特別展「武者小路実篤の出版事情 ～『白樺』『大調和』を中心に～」	平成29年4月29日 ～6月11日	大人 1,463 子ども 116 計 1,579	38日
郷土博物館共催コーナー展示 「実篤公園は縄文遺跡だった？」	平成29年6月24日 ～8月1日		33日
夏休み企画「知ってる？武者小路実篤」	平成29年7月1日 ～8月27日	大人 3,602 子ども 371 計 3,973	50日
秋季展「人を描く、人を書く」	平成29年9月2日 ～10月15日	大人 951 子ども 33 計 984	38日
秋の特別展 「素直に楽しむ 武者小路実篤と民藝」	平成29年10月21日 ～12月10日	大人 1,482 子ども 201 計 1,683	44日
高鍋町美術館 特別展「武者小路実篤 新しき村 人間萬歳」 (会場：高鍋町美術館)	平成29年11月3日 ～12月3日	大人 1,038 小中高生・高齢 者・障がい者 468 計 1,506	27日 (全会期・11月 2日内覧日含む)
企画展「画家の手紙 制作と友への思い」	平成29年12月23日 ～平成30年1月28日	大人 587 子ども 21 計 608	27日
企画展「実篤の言葉～画讃と詩を中心 に～」	平成30年2月3日 ～3月11日	大人 924 子ども 37 計 961	32日
コーナー展示「武者小路実篤と天災 自伝 小説『一人の男』から見る関東大震災」 (全国文学館協議会共同展示「3.11	平成30年2月3日 ～3月11日		32日

文学館からのメッセージ」参加企画)			
春季展「筆の向くまま～実篤の自筆原稿～」	平成30年3月17日 ～4月22日	大人 388 子ども 32 計 420	13日 (3月分のみ)

(2) 普及事業

ア 講演会・講座等事業

事業名	講師	開催日	会場	参加者(人)
展示解説 春季展「自然は美を愛す」～実篤書画展～	財団職員	平成29年4月9日	実篤記念館	15
実篤に挑戦！ 筆と墨で絵をかこう(春)		平成29年5月6日 ・7日	実篤記念館	46
読書講座「武者小路実篤「友情」を読む」	瀧田浩氏(二松学舎大学教授)	平成29年5月13日	実篤記念館	12
展示解説 春の特別展「武者小路実篤の出版事情～『白樺』『大調和』を中心に～」	財団職員	平成29年5月14日 ・6月2日	実篤記念館	26
初夏の自然観察会	富田広氏(自然観察指導者)	平成29年5月20日	実篤記念館と周辺緑地	16
講演会「『白樺』を支えた洛陽堂主人 河本亀之助」	田中英夫氏(研究者)	平成29年5月28日	実篤記念館	28
作ってみよう！梅ジャム	財団職員	平成29年6月10日	実篤記念館 東部公民館	15
展示解説「知ってる？ 武者小路実篤」	財団職員	平成29年7月21日 ・8月19日	実篤記念館	87 *8月19日は参加者多数のため2組で実施
作ってみよう！私だけの本(3回連続)	田尾明敏氏(NPO法人美術研究センター理事)・岡野暢夫氏(製本工房リール)	平成29年7月29日 ・30日・8月4日	実篤記念館 東部公民館	15
夏休み自由研究サポート	財団職員	平成29年7月22日	実篤記念館	226

(実篤事典を作ろう, ぬりえ, 調べ学習, ジグソー, 実篤マンホール拓本, シュロの葉バッタ, 鑑賞パズル)		～8月27日		*内, 保護者15
「文豪とアルケミスト」コラボレーション企画開催		平成29年8月2日～27日	実篤記念館 東部公民館	3, 328 * 期間内来場者数
実篤に挑戦!～筆と墨で絵をかこう～(夏)	財団職員・ボランティア	平成29年8月5日	実篤記念館	67 *内, 子ども12
<<特別編>> 実篤に挑戦!～うちわに筆と墨で絵をかこう!～	菱沼陽土女氏(絵画講師)	平成29年8月6日	実篤記念館	24 *内, 子ども13
親子講座「お気に入りの植物ずかんを作ろう!」	富田広氏(自然観察指導者)	平成29年8月11日	実篤公園・実篤記念館	29 *内, 子ども15
多摩川流域11自治体交流イベントラリー		平成29年7月1日～8月27日	実篤記念館	3, 287
「ちょこっとメモする展覧会鑑賞ノート!」設置		平成29年9月2日～10月15日	実篤記念館	※入場者自由参加
展示解説 秋季展「人を描く、人を書く」	財団職員	平成29年9月10日・29日	実篤記念館	12
「東京文化財ウィーク2017」企画事業 参加		平成29年10月1日～11月30日	実篤記念館	
講座「祖父・実篤の思い出」	武者小路知行氏(当財団理事長)	平成29年10月15日	東部公民館	28
「展覧会をじっくり見るためのヒントカード」設置		平成29年10月21日～12月10日	実篤記念館	※入場者自由参加
展示解説 特別展「素直に楽しむ 武者小路実篤と民藝」	財団職員	平成29年10月27日	実篤記念館	12
東部地域8施設合同企画「とーぶフェスティバル2017 スタンプラリー」		平成29年10月28日～11月12日	実篤記念館	184
講座「民藝と柳宗悦と武者	杉山享司氏(日本	平成29年11月12日	市民プラザ	29

小路実篤	民藝館学芸部長		あくろす・ホール2	
ギャラリートーク「武者小路実篤の民藝コレクション」	杉山享司氏（日本民藝館学芸部長）	平成29年11月19日	実篤記念館	24
親子講座「作ってみよう！クリスマスリース」	松田研二氏（自然遊びの先生）	平成29年12月9日	実篤公園・実篤記念館	14
展示解説 企画展「画家の手紙 制作と友への思い」	財団職員	平成29年12月23日 ・平成30年1月26日	実篤記念館	29
「実篤の言葉おみくじ」配布		平成30年2月3日～3月11日	実篤記念館	※入場者全員に配布
「製本講座」初級編（2回連続）	岡野暢夫氏（製本工房リーブ）	平成30年2月8日・15日	東部公民館	14
展示解説 企画展「実篤の言葉～画讃と詩を中心に～」	財団職員	平成30年2月9日・17日	実篤記念館	10
「筆の向くまま～実篤の自筆原稿～」マニアッククイズ 設置		平成30年3月17日～4月22日	実篤記念館	※入場者自由参加
展示解説 春季展「筆の向くまま～実篤の自筆原稿～」	財団職員	平成30年3月24日	実篤記念館	19
団体解説（予約制）	財団職員		実篤記念館	216 (年間13回)

イ 学校教育との連携事業

(7) 学校教育

事業名	開催日	会場	連携・協力団体	参加者(人)
公園散策	平成29年4月27日	実篤公園	調布市立若葉小学校3年生	108
公園散策	平成29年5月12日	実篤公園	桐朋女子高等学校音楽科1年生	29
夏休み事業チラシ表紙イラスト作製	平成29年5月19日		調布市立第四中学校美術部	1

公園散策	平成29年5月31日	実篤公園	桐朋小学校	38
公園写生	平成29年5月31日 ・6月1日・2日	実篤公園	調布市立若葉小学校5年生	96
記念館見学 公園散策	平成29年6月3日	実篤記念館 ・実篤公園	晃華学園中学校2年生	17
地域調べ	平成29年6月8日	実篤公園	調布市立若葉小学校2年生	19
夏休み自由研究サ ポート案内プリン ト配布	平成29年7月4日～ 5日		調布市立小中学校(15校) *全28校を郷土博物館と分 担	
公園散策	平成29年7月19日	実篤公園	桐朋女子高等学校音楽科	13
先生のための見学 プログラム	平成29年7月22日 ～8月27日	実篤記念館		7
実篤公園写生作品 展示	平成29年8月2日～ 27日	実篤記念館	調布市立若葉小学校5年 生・図工教員	15
中学生ボランティア	平成29年8月6日	実篤記念館	調布市立第四中学校1年 生・2年生	3
職場体験	平成29年9月12日 ～15日	実篤記念館	調布市立神代中学校2年生	4
公園散策	平成29年10月14日	実篤公園	東京農工大学学生	16
公園散策	平成29年10月18日	実篤公園	桐朋女子高等学校1年生	15
展覧会见学・鑑賞	平成29年10月25日 ・26日・11月1日	実篤記念館	調布市立若葉小学校4年 生・図工教員	104
公園散策	平成29年10月26日 ・31日	実篤公園	都立神代高等学校1年生	160
館内・公園撮影, 職 員インタビュー(第 40回東京都高等学 校文化祭放送部門 ビデオメッセージ 部門出品予定映像)	平成29年10月25日 ・26日	実篤記念館	桐朋女子高等学校放送部	3
公園散策	平成29年11月1日	実篤公園	都立神代高等学校	42
校内パネル展示	平成29年11月2日 ～平成30年1月19 日	第八中学校 図書室	調布市立第八中学校	

公園散策	平成29年12月5日	実篤公園	桐朋女子高等学校音楽科 2年生	14
校内パネル展示	平成29年12月12日 ～平成30年1月16 日	第六中学校 図書室	調布市立第六中学校	
校内パネル展示	平成30年2月2日～ 2月27日	第四中学校 図書室	調布市立第四中学校	
記念館見学・公園散 策	平成30年3月6日	実篤記念館 ・実篤公園	桐朋女子高等学校2年生	19
学校向け展示パネ ル作製（新規3枚）				

(i) 実習生受入

事業名	開催日	会場	受入人数（人）
中学校教員社会体験研修 （10年経験者）	平成29年7月29日・30日・8月5日 *3日間	実篤記念館	1

(ii) 講師派遣

事業名	講師	開催日	会場	参加者（人）
絵手紙協会【プラスワン講座】 「画をかくことは美の発見～武者小 路実篤の画をかく喜び～」	財団職員	平成29年4月12日 ・19日	東京・絵手紙 ホール	103
「武者小路実篤の生涯」（調布わいわ いサロン）	財団職員	平成29年6月5日	たづくり1001 学習室	23
絵手紙協会【プラスワン講座】 「画をかくことは美の発見～武者小 路実篤の画をかく喜び～」	財団職員	平成29年6月20日 ・21日	大阪・絵手紙 ホール	68
ひまわり学苑公開講座 文学講座「武者小路実篤」	財団職員	平成29年6月26日	三鷹市牟礼コ ミュニティー センター	53
みたか学・文学コース『文学のまち・ 三鷹を知る』第3回「武者小路実篤・ 生涯とその作品」	財団職員	平成29年7月22日	元気創造プラ ザ 生涯学習 センター	50
高鍋町美術館特別展「武者小路実篤	財団職員	平成29年11月2日	高鍋町美術館	45

新しき村 人間萬歳」内覧会ギャラリー リートーク				
高鍋町美術館特別展「武者小路実篤 新しき村 人間萬歳」ギャラリー ートーク	財団職員	平成29年11月3日	高鍋町美術館	26
調布市北部公民館芸術鑑賞講座「白 樺が影響を与えた近代美術と民藝」 (講義・日本民藝館見学)	財団職員	平成30年1月20日 ・23日	北部公民館・ 日本民藝館	延べ23 (講義13・ 見学10)

ウ ボランティア事業

ボランティア登録者 26人 (平成30年3月31日現在)

*4月28人、3月登録辞退2人

活動内容		実施回数 (回)	活動者 (人)	備考
環境整備グループ (植物手入れ, 開架図書整備, 屋外展示物・掲示板等の清掃)		31	112	
普及事業グループ	掲示作業	7	24	
	開催事業補助	18	67	
	朗読	8	15	利用者 169人
ガイドグループ (ボランティアガイド)		32	96	利用者 229組 516人
他館図録PC入力作業		18	18	入力件数 144件
その他 (総会, 連絡会, 発送作業, ステップア ップ講座)		15	71	

エ 友の会事業

平成29年度友の会会員数70人 (賛助会員: 8人, 一般会員: 62人)

平成30年3月31日現在

事業内容	内容	発行
友の会ニュース発行	事業や実篤関連情報を提供	年6回 (隔月発行)

オ 広報事業

(7) 広報資料の作成・配布

事業内容	対象	件数
調布市広報課提出 (市報原稿, 市ツイッター,	一般	185件

市フェイスブック)		
ツイッター独自アカウント *平成29年7月より試験運用	一般	544件
広報リリース作成, 情報提供	新聞社, テレビ局, インターネット情報 サイト	77件
取材対応	新聞社, テレビ局, 出版社, インターネ ット情報サイト	82件
撮影支援事業対応 (調布フィルムコミッショ ン)	(株) クリード映画「もしもに愛を」, (株) ディ・コンプレックス「有吉くん の正直さんぽ」	2件
事業広報用簡易ポスター作成, 掲示	一般	69件
事業広報用簡易チラシ作成, 配布	一般	6件
臨時休館・事業案内チラシ作成	一般	1件
秋の特別展「素直に楽しむ 武者小路実篤と 民藝」ポスター・チラシ作成	一般	1件
春の特別展「誰でも画はかける 小池邦夫が えらぶ武者小路実篤の書画」ポスター・チラ シ作成	一般	1件
ホームページ(毎月更新・臨時更新)	一般	15回
発行物発送 (展覧会日程・館報・特別展ポス ター・チラシ)	一般, 関係者, 関係機関, 都庁交換, 市 内交換ほか	1, 957件

(イ) 印刷物編集・刊行事業

資料名	種別	対象	発行	部数	備考
春の特別展「武者小路実篤の 出版事情～『白樺』『大調和』 を中心に～」パンフレット	図録	一般	平成29年4月	1, 000部	24頁 有償頒布 400円 (税別)
解説シート「もっと知りたい 武者小路実篤」No. 55～57	解説シート	一般	平成29年7月	各5, 000部	無料配布
館報『美愛真』第33号	館報	一般	平成29年9月	3, 000部	無料配布
秋の特別展「素直に楽しむ 武者小路実篤と民藝」パンフ レット	図録	一般	平成29年9月	1, 000部	24頁 有償頒布 410円 (税別)
平成30年度展示案内	展示日程	一般	平成30年3月	20, 000部	無料配布

館報『美愛真』第34号	館報	一般	平成30年3月	3,000部	無料配布
『画をかく喜び 武者小路実篤画集』増刷	画集	一般	平成30年3月	1,000部	有償頒布 500円(税別)

(f) ホームページ

活動内容	対象	件数等
ホームページ(毎月更新・臨時更新)	一般	15回
事業予定, 所蔵品データベース, キッズコーナー, 資料データ, 財団情報公開		年間アクセス数 3,618,549件

(g) ぐるっとパス事業

事業名	内容	件数等
ぐるっとパス2017年広報	ぐるっとパス2017年ポスター・チラシへの情報の提供と, 参加館や公共交通機関等で掲示・配布	年間2件
	ぐるっとパスブログ掲載情報提供	毎月1回
	新聞, WEB, 交通広告等での広告掲載	年間12件
	新聞, 雑誌, テレビ, WEB等での取材	年間33件
ぐるっとパス2017利用者	ぐるっとパス2017年の利用者数	688人
ぐるっとパス2017販売数	ぐるっとパス2017年の窓口販売数	17件
ぐるっとパス2017引き換え数	ぐるっとパス2017年の窓口引き換え数	3件

(h) 視察

視察者	実施日	目的	件数等
三鷹市スポーツと文化財団	平成29年7月25日	太宰治記念館・吉村昭記念館準備	10人
川端康成記念館(大阪府茨木市)	平成29年8月16日	ゲームとのコラボレーションについて	1人
白樺文学館(千葉県我孫子市)	平成29年8月20日	ゲームとのコラボレーションについて	1人
田端文士村記念館(東京都北区)	平成29年8月24日	ゲームとのコラボレーションについて	1人
川端康成記念館(大阪府茨木市)	平成29年8月24日	ゲームとのコラボレーションについて	1人
田山花袋記念文学館(群馬県館林市)	平成29年8月25日	ゲームとのコラボレーションについて	1人

勝央美術文学館（岡山県勝央町）	平成29年9月20日	ゲームとのコラボレーションについて	1人
ミュージアム・エデュケーター 研修企画運営会議委員・文化庁 職員	平成29年11月22日	「ミュージアム・エデュケーター研 修」成果検証のための現地調査の受 入について	3人

(3) 資料収集・管理事業

ア 資料収集

資料区分	寄贈 (点)	購入 (点)	寄託 (点)	合計 (点)
美術品	3	0	0	3
図書・雑誌	487	144	0	631
関連作品・資料	4	0	0	4
原稿	22	1	0	23
書簡	83	0	0	83
写真	11	0	0	11
映像資料	0	0	0	0
その他資料	81	6	0	87
(総計)	691	151	0	842

※平成30年3月31日現在の収蔵品点数61,969点

※購入原稿1点は、調布市美術作品等取得基金購入

イ 資料管理

種別	件数	点数	主な利用内容	期間
作品・資料貸出	5件	83件 89点	平塚市美術館・碧南市藤井達吉現代美術館・足 利市立美術館・姫路市立美術館 企画展「リア ルのゆくえ」(会期：平成29年4月15日～6月11日 ／6月17日～7月30日／8月8日～9月18日／9月23 日～11月5日 計1点 河野通勢「風景」	期間：平成29年4 月8日～11月30 日
			調布市郷土博物館 企画展「おもちゃを愛でる ～調布市ゆかりの作家と郷土玩具」(会期：平成 29年7月8日～9月24日) 計8点 武者小路実篤「牛 黙々」(淡彩画) ほ か	期間：平成29年7 月6日～9月29日

			福井市美術館 「没後30年記念 高田博厚展」 (会期：平成29年9月16日～11月5日) 計10点 岸田劉生「第一回大調和美術展覧会ポスター」(リトグラフ) ほか	期間：平成29年8月22日～11月15日
			高鍋町美術館特別展「武者小路実篤 新しき村人間萬歳」(会期：平成29年11月3日～12月3日) 計62件(68点) 武者小路実篤書画・原稿・図書・雑誌ほか	期間：平成29年10月27日～12月7日
			アーツ前橋「横堀角次郎とその仲間たち」(会期：平成30年3月17日～5月29日) 計2点 河野通勢「風景」「自画像」	期間：平成30年2月28日～6月15日
作品・資料返却	4件	74件	群馬県立館林美術館・静岡県立美術館・三重県立美術館 企画展「再発見！ニッポンの立体」 (会期：平成28年7月16日～9月19日／11月15日～平成29年1月9日／1月24日～4月9日) 計1点 木喰妙満「薬師如来坐像」	期間：平成28年6月30日～平成29年4月21日
		80点	調布市郷土博物館 企画展「おもちゃを愛でる～調布市ゆかりの作家と郷土玩具」(会期：平成29年7月8日～9月24日) 計8点 武者小路実篤「牛 黙々」ほか	期間：平成29年7月6日～9月27日
			福井市美術館 「没後30年記念 高田博厚展」 (会期：平成29年9月16日～11月5日) 計10点 岸田劉生「第一回大調和美術展覧会ポスター」(リトグラフ) ほか	期間：平成29年8月22日～11月14日
			平塚市美術館・碧南市藤井達吉現代美術館・足利市立美術館・姫路市立美術館 企画展「リアルゆくえ」(会期：平成29年4月15日～6月11日／6月17日～7月30日／8月8日～9月18日／9月23日～11月5日) 計1点 河野通勢「風景」	期間：平成29年4月8日～11月17日
			高鍋町美術館特別展「武者小路実篤 新しき村人間萬歳」(会期：平成29年11月3日～12月3日) 計62件(68点) 武者小路実篤書画・原稿・図書・雑誌ほか	期間：平成29年10月27日～12月9日

写真資料貸出	32件	89点	<p>さくら舎 『美文字の法則 さっと書く一枚の手紙』掲載 武者小路実篤より志賀直哉宛はがき明治43年1月22日 1点, バランディ・アーツ社「ロストペインティング」番組制作 ゴッホ「向日葵」・山本願弥太と(写真) 2点, バランディ・アーツ社「ロストペインティング」複製制作 ゴッホ「向日葵」・山本願弥太と(写真) 2点, テレビ朝日「ビートたけしのテレビタックル」 「野菜図 仲よき事は」 1点, デアゴスティーニ「失われたアート」 ゴッホ「向日葵」 1点, 日本経済新聞「美の美」 ゴッホ「向日葵」 1点, テレビ朝日「クイズプレゼンバラエティーQさま!!」 志賀直哉との徒歩旅行(写真) 1点, デアゴスティーニ「失われたアート」 『セザンヌゴッホ画集』ほか 11点, 震災復興記念館 秋の特別展「大正の鬼才 河野通勢の関東大震災」展 「風景(川)」ほか 6点, NHKエデュケーショナル 「ゴッホ展 巡りゆく日本の夢」 雑誌『白樺』表紙ほか 2点, 新潮社 前田 速夫著『武者小路実篤と新しき村』 日向新しき村全景 ほか17点, 新宿歴史博物館 千家元麿肖像(写真) 1点, 高鍋町美術館特別展「武者小路実篤 新しき村 人間萬歳」告知用印刷物 「麦を刈る実篤ほか 9点, 日本テレビ「ヒルナンデス」 記念館外観・内観・旧邸外観 3点, TBSテレビ「マツコの知らない世界」 実篤肖像(写真) 1点, TBSテレビ「Nスタ」 実篤肖像(写真) 1点, NHK「ひるブラ」 ゴッホ「向日葵」 1点, テレビ朝日「じゅん散歩」 実篤肖像(写真) 1点, さいたま文学館「収蔵品展」 千家元麿肖像ほか(写真) 4点, 東山病院「東山だより」 実篤肖像(写真) 1点, NHK「日本人のおなまえっ!」 実篤肖像(写真) 1点, NHKア</p>
--------	-----	-----	--

			<p>アーカイブス (番組保存) フィルム2点・テープ2点、BS日テレ「ぶらぶら美術・博物館」ゴッホ「向日葵」の前で実篤と山本顧弥太 (写真) 1点、日本テレビ「元気のアプリ」実篤肖像 (写真) 1点、フジテレビ「有吉君の正直さんぽ」実篤肖像ほか (写真) 3点、大塚国際美術館展示映像『白樺』大正10年2月号口絵ほか 2点、大塚国際美術館グッズ制作 ゴッホ「向日葵」1点、NHKアーカイブス 16mmフィルム「明るい農村」1点、日本絵手紙協会 講座用画像 武者小路実篤肖像 (写真) 1点、大塚オーミ陶業 陶板複製グッズ作製 ゴッホ「向日葵」1点、日本絵手紙協会『月刊絵手紙』5月号 武者小路実篤書画・書簡・肖像 6点</p>
特別撮影	1件	1点	武者小路家所蔵・当館寄託『伊勢物語』武者小路本 (鎌倉時代古写本) 調査・研究及び再評価のため 1点49カット

(4) 資料整理・保存事業

ア 整理・保存

作業区分	内容	作業件数	備考
温湿度管理	温湿度計チェック (数値確認)	毎日	4月～5月は地下書庫2台/6月以降は地下書庫2台、フィルム収蔵庫1台、二階収蔵庫2台、展示室5台
	温湿度計データ吸い上げ (展示替え時)	7回	展示室ほか7台分
加湿器	加湿器清掃	8回	加湿器5台 (5～8月、3月は2台、1～2月は4台)
加湿器タンク給水	加湿器タンク給水	毎日 (10月～3月)	加湿器5台 (10月は閲覧室2台 11月～3月は展示室・閲覧室5台)
除湿器タンク排水	除湿器タンク排水	毎日 (6月～11月)	除湿器7台 (6月～7月は展示室4台、地下書庫2台 8月～10月は展示室5台、地下書庫2台)

			11月は展示室1台, 地下書庫2台)
ケース清掃	クロス拭き	毎日	
ケース清掃用クロス洗濯	クロス洗濯	48回	
収蔵庫燻蒸に伴う作業	閲覧室開架図書の収蔵庫収納および終了後の再配架	1,345冊	燻蒸臨時休館期間: 6月13日~23日
	地下書庫・二階収蔵庫 箱開けおよび終了後の箱閉め		
図書・逐次刊行物資料現物確認	データベースの配架欄と現物の配架場所の照合	6,255件	
図書保存箱作成	図書用中性紙保存箱作成	100点	
図書保存箱作成作業	図書用中性紙保存箱ラベル校正	100点	

イ 所蔵作品・資料等の修復, 複製制作等

作業区分	内容	作業件数	備考
修復	所蔵作品修復(武者小路実篤 淡彩・軸:みかん一つ, 書・額:「龍となれ」)	書画2点	完了: 平成29年7月
	作品額作製(武者小路実篤 油彩「白磁の壺に椿」)	書画1点	完了: 平成29年10月
	所蔵作品修復(武者小路実篤 淡彩・額:果物図, 野菜図, ひまわり図, バラ/書・額:「日々新」「和而不同」)	書画6点	完了: 平成30年3月
資料複製	武者小路実篤より上田慶之助あて書簡 昭和4年10月22日 (A-書簡-075) 周作人・訳「新村的説明及会則」原稿 冒頭 (C-原稿-028)	原稿1点 書簡1点	完了: 平成30年3月

ウ 収蔵品データベースの充実

作業区分	内容	作業件数	備考
図書・逐次刊行物資料現物確認	現物チェックに基づいたデータベース配架欄の入力	5,345件	

収蔵品データベース データ整備	収蔵品データベース (データの追加, 修正作業)	資料1,046件 (新規422件 遡及入力118件 修正488件 重複削除18件)	
データベースサーバー等の機器入替及びデータの移行作業実施	平成29年12月13日～16日に実施		
画像デジタル化	画像デジタル化作業	300件	
収蔵品データベース登録件数	平成30年3月末データベース登録件数	40,306件	
収蔵品データベース利用件数	平成29年度データベース利用件数	2,452,215件	

(5) 閲覧サービス・情報公開事業

ア 閲覧サービス事業

(ア) 一般閲覧

月	開室日数	利用者数 (人)			レファレンス受付件数 (件)		
		室利用者	情報提供システム	収蔵品検索システム	カウンター受付	電話, Eメール等受付	小計
4月	23	406	136	17	101	24	125
5月	22	470	200	12	104	20	124
6月	14	287	138	13	62	16	78
7月	21	261	106 ※	15	93	17	110
8月	23	1,405	4 ※	47	110	32	142
9月	21	335	152	14	77	25	102
10月	22	260	123	19	70	16	86
11月	21	375	187	20	66	11	77
12月	21	324	132	6	57	14	71
1月	20	246	109	11	36	24	60
2月	20	312	108	10	83	23	106
3月	22	356	145	9	91	25	116

計	250	5,037	1,540	193	950	247	1,197
前年	163	2,356	1,093	141	719	154	873

※ 夏休み企画期間中の平成29年7月28日～8月27日は、情報提供システムを展示室へ移設したためカウント不能

※ 前年度は空調改修工事に伴い、平成28年11月8日～平成29年3月17日まで休館

(イ) 特別閲覧

閲覧件数	調査目的	日時	内容
1件 (1回)	研究	平成29年7月12日	『伊勢物語』武者小路本 (鎌倉時代古写本) 1点
1件 (1回)	研究 特別展準備	平成29年7月14日	高田博厚関連資料 大調和点ポスターほか美術品2点、書簡1点、『白樺』ほか図書・雑誌6点、大調和美術展覧会目録ほか印刷物点2点 計11点
1件 (1回)	研究 特別展準備	平成29年12月10日	有島武郎関係資料 書簡2点

イ 情報公開事業

事業区分	事業内容	実施時期
情報提供システムの運用	コンテンツの充実, 機器の保守管理, 運用促進	随時

(6) 調査・研究事業

調査名	調査内容	調査場所	点数等
夏休み企画「知ってる? 武者小路実篤」展のための資料調査	武者小路実篤自筆資料 (原稿・草稿5点, 書簡20点, 雑誌3点)		28点
秋の特別展「素直に楽しむ 武者小路実篤と民藝」展のための資料調査	日本民藝館所蔵実篤書簡	日本民藝館	11点
	武者小路実篤愛蔵民藝品リスト改訂版作成		181点
	実篤記念館所蔵柳宗悦書簡リスト作成		36点
	実篤記念館所蔵柳宗悦関連書簡リスト作成		88点
	武者小路知行氏所蔵資料		12点
	武者小路久美子氏所蔵資料		4点
	館蔵・個人蔵・新しき村美術		207点

	館所蔵作品リスト作成		
	館蔵図書・雑誌調査		60冊
	作品検証依頼		3点5件
	作品寸法採寸		38点
秋季展「人を描く、人を書く」 展示候補作品調査	武者小路実篤スケッチ 10 点, スケッチブック 10 点, 原稿 22 点, 書簡5 点, 主宰雑誌『心』 1 点, 『この道』5 点, 武者 小路安子スケッチ 6 点		59点
展示協力 高鍋町美術館特別 展「武者小路実篤 新しき村 人間萬歳」資料調査	新しき村所蔵資料調査	新しき村 (埼玉)	35点
	新しき村所蔵資料貸出に伴う 状態検証	新しき村 (埼玉)	31点
館報「所蔵資料から」執筆資料 調査 武者小路実篤原稿	武者小路実篤原稿		1点
資料購入準備 (調布市美術作品 等購入基金, 収集委員会)	武者小路実篤『真理先生』原 稿		1点
日向新しき村現状調査 (平成29年11月4日～6日)	フィールドワーク (実踏, 撮 影, 聞き取り)	日向新しき村・木城町	3日間
新しき村関連記事調査	記録資料調査 (新聞記事, 郷 土資料, 図書)	宮崎県立図書館・高鍋 町図書館	延べ3日間
日向新しき村現状調査 (平成29年12月1日～2日)	フィールドワーク (実踏, 撮 影, 聞き取り)	日向新しき村・木城町	2日間
新しき村 (埼玉) 現状調査 (平成29年12月24日)	フィールドワーク (実踏, 撮 影, 聞き取り)	日向新しき村・木城町	1日間
平成30年度春の特別展 調査	実篤記念館所蔵 候補作品リ スト作成		420点
	早稲田大学津八郎記念博物 館所蔵 候補作品リスト作成		37点
	神奈川近代文学館所蔵資料書 簡	神奈川近代文学館	8件
	実篤記念館所蔵書画4点, 日記 1点, 書簡478点, 図書648点		1, 131点

	資料撮影 神奈川近代文学館 所蔵資料 書簡7件, 実篤記念 館所蔵資料 書画2点, 書簡8 点, 図書8点, 小池邦夫所蔵資 料 書画15点		40点
長與純三氏所蔵資料調査	屏風1点, 軸装8本, 原稿等資 料 衣装ケース4個, 文書箱2 個	長與純三氏宅	15件
神奈川近代文学館移管資料 所蔵重複確認	定期刊行物		137点
企画展「実篤の言葉 画讃と詩 を中心に」資料調査	実篤記念館所蔵 原稿20点, 日 記3点, 雑誌15点, 書簡20点, 美術品10点		68点
新収蔵資料撮影	書画2点, 原稿2点, 書簡45点		49点
企画展「筆の向くまま 実篤の 自筆原稿」資料調査	実篤記念館所蔵 原稿38点, 日 記4点, 図書8点, 雑誌5点, 書 簡8点, 美術品25点, 新聞2点, その他(愛用品等) 5点		95点
館報34号「所蔵資料から」関連 資料調査	実篤記念館所蔵原稿1点, 図書 10点		11点
書簡翻刻	実篤記念館所蔵書簡		66点
新しき村100周年記録ビデオ撮 影	新しき村(埼玉) 平成29年 11月稲刈り・平成29年12月餅 搗き, 日向新しき村 平成29 年12月現状調査・インタビュ ー・平成30年3月空撮	新しき村(埼玉), 日向 新しき村	

(7) 自主事業

ア 物品販売事業

事業内容	制作時期	制作数	備考
手拭ハンカチ(別色)	平成29年10月	260枚	市政功労者表彰記念品
クリアファイル(2種) 新規制作	平成29年11月	計1,000個	
絵はがき(6種) 新規制作	平成29年11月	計12,000枚	

限定チョコレート 新規制作	平成29年11月～ 平成30年2月	3,000個	
---------------	----------------------	--------	--

イ 広告料の確保

事業名	場所	開催日	件数
案内看板の広告	実篤記念館東ロータリー側	平成29年4月1日～平成30年3月31日	1件

ウ 自主事業

事業名	講師	開催日	会場	参加者(人)
観梅のつどい 第一部 コンサート	桐朋学園大学 音楽学部学生	平成30年2月25日	実篤記念館	33
観梅のつどい 第二部 ミニ講座「新しき村の今～ 日向新しき村を訪ねて～」	財団職員	平成30年2月25日	東部公民館	8
公開ワークショップ 「朗読で感じる実篤」	河崎早春氏 (朗読家・俳優)	平成30年3月1日	せんがわ劇場	ワークショ ップ参加8, 鑑賞13

(8) 施設管理運営事業

ア 実篤記念館施設管理運営

事業名	期間	利用者総数	日数
実篤記念館施設管理運営業務	平成29年4月1日～平成30年3月31日	11,233人	298日

イ 実篤公園日常管理

事業名	期間	利用者総数	日数
実篤公園日常管理業務	平成29年4月1日～平成30年3月31日	29,887人	307日
旧実篤邸公開業務	平成29年4月1日～平成30年3月31日	5,027人	103日

3 平成29年度調布市武者小路実篤記念館利用状況

実篤記念館利用者数（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

記念館開館日数 298 日
 公園開園日数 307 日
 旧邸公開日数 103 日

月	記念館(人)										公園(人)			合計	旧邸 公開日 (日)	
	大人					子ども					小計	大人	子ども			小計
	有料一般	有料割引	65才以上	その他	ぐるっと パス	計	有料一般	有料割引	その他	計		計	計			
4	484	37	43	96	39	699	11	0	29	40	739	2,129	864	2,993	3,732	366
5	671	9	29	171	82	962	21	0	37	58	1,020	2,264	762	3,026	4,046	580
6	262	71	30	79	43	485	5	2	47	54	539	1,653	703	2,356	2,895	258
小計	1,417	117	102	346	164	2,146	37	2	113	152	2,298	6,046	2,329	8,375	10,673	1,204
7	359	7	26	55	47	494	38	0	58	96	590	1,021	286	1,307	1,897	256
8	2,836	35	53	140	72	3,136	206	4	76	286	3,422	2,873	300	3,173	6,595	1,168
9	442	17	27	99	41	626	9	0	16	25	651	1,469	345	1,814	2,465	248
小計	3,637	59	106	294	160	4,256	253	4	150	407	4,663	5,363	931	6,294	10,957	1,662
10	335	14	34	106	58	547	5	0	75	80	627	1,522	284	1,806	2,433	184
11	568	8	36	187	88	887	10	0	105	115	1,002	2,265	893	3,158	4,160	446
12	307	50	48	171	53	629	12	0	13	25	654	1,798	723	2,521	3,175	396
小計	1,210	72	118	464	199	2,063	27	0	193	220	2,283	5,585	1,900	7,485	9,768	1,026
1	338	17	25	120	24	524	3	0	7	10	534	1,445	435	1,880	2,414	297
2	417	7	51	97	72	644	8	0	14	22	666	1,732	609	2,341	3,007	330
3	476	54	40	113	58	741	16	0	32	48	789	2,573	939	3,512	4,301	508
小計	1,231	78	116	330	154	1,909	27	0	53	80	1,989	5,750	1,983	7,733	9,722	1,135
合計	7,495	326	442	1,434	677	10,374	344	6	509	859	11,233	22,744	7,143	29,887	41,120	5,027
前年度 合計	3,133	262	385	1,299	503	5,582	325	24	487	836	6,418	18,376	6,406	24,782	31,200	4,232
増減 前年度 比 (%)	4.362	64	57	135	174	4,792	19	△ 18	22	23	4.815	4.368	737	5,105	9,920	795
	139.2	24.4	14.8	10.4	34.6	85.8	5.8	△ 75.0	4.5	2.8	75.0	23.8	11.5	20.6	31.8	18.8

4 役員・会議に関する事項

(1) 役員名簿（平成30年3月31日現在）

ア 理事及び監事

役員名	氏 名
理事長	武者小路 知行
常務理事	大 木 正 勝
理事	柏 原 公 毅
理事	岩 本 宏 樹
理事	安 本 登喜子
理事	濱 嶋 稔
監事	新 井 七 吾
監事	源 後 哲 郎

イ 評議員

氏 名
武者小路 信和
浅 井 京 子
瀧 田 浩
小 西 聡
齋 田 文 雄

(2) 会議の開催

ア 理事会

開催年月日	件 名	議決結果
平成29年5月2日	・一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者について	可決
	・一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する監事候補者について	可決
	・一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する評議員候補者について	可決
	・平成28年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告の承認について	承認
	・平成28年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支決算書の承認について	承認
	・平成29年調布市議会第2回定例会に提出する平成28年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の経営状況報告について	報告
	・一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事長の選定について	可決
平成29年11月16日	・一般財団法人調布市武者小路実篤記念館平成29年度第1回補正予算の承認について	承認
	・DMM GAMESゲーム「文豪とアルケミスト」とのコラボ企画の実績報告について	報告
	・調布市武者小路実篤記念館の作品・資料収集について	報告
	・宮崎県高鍋町美術館 特別展「武者小路実篤 新しき村人間萬歳」開催及び日向新しき村訪問について	報告

平成30年3月29日	・平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画について	承認
	・平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について	承認

イ 評議員会

開催年月日	件 名	議決結果
平成29年5月2日	・議事録署名人の選出について	可決
	・一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事の選任について	可決
	・一般財団法人調布市武者小路実篤記念館監事の選任について	可決
	・一般財団法人調布市武者小路実篤記念館評議員の選任について	可決
	・平成28年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告の承認について	承認
	・平成28年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館收支決算書の承認について	承認
	・平成29年調布市議会第2回定例会に提出する平成28年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の経営状況報告について	報告
平成29年11月16日	・議事録署名人の選出について	可決
	・一般財団法人調布市武者小路実篤記念館平成29年度第1回補正予算の承認について	承認
	・DMM GAMESゲーム「文豪とアルケミスト」とのコラボ企画の実績報告について	報告
	・調布市武者小路実篤記念館の作品・資料収集について	報告
平成30年3月29日	・宮崎県高鍋町美術館 特別展「武者小路実篤 新しき村 人間萬歳」開催及び日向新しき村訪問について	報告
	・議事録署名人の選出について	可決
	・平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画について	承認
平成30年3月29日	・平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について	承認

平成29年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

収支計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

1 一般会計

I 事業活動収支の部

(事業活動収入)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	補助金等収入	85,255,000	85,255,000	0	
	1 人件費補助金収入	75,134,000	75,134,000	0	
	2 事務費補助金収入	10,121,000	10,121,000	0	
2	指定管理料収入	31,904,000	31,904,000	0	
	1 指定管理料	31,904,000	31,904,000	0	
3	受託事業収入	9,882,000	9,882,000	0	
	1 受託事業(実篤公園日常管理)	6,382,000	6,382,000	0	
	2 受託事業(展覧会受託)	3,500,000	3,500,000	0	
4	利用料金収入	1,100,000	1,843,112	△ 743,112	
	1 利用料	1,000,000	1,616,300	△ 616,300	
	2 頒布料	100,000	226,812	△ 126,812	
5	諸収入	351,000	420,338	△ 69,338	
	1 事業参加費	100,000	99,630	370	
	2 友の会会費	100,000	105,000	△ 5,000	
	3 雑収入	150,000	211,248	△ 61,248	
	4 利子収入	1,000	4,460	△ 3,460	
	5 繰入金	0	0	0	
事業活動収入計 (A)		128,492,000	129,304,450	△ 812,450	

(事業活動支出)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	管理費支出	85,255,000	82,317,781	2,937,219	
	1 人件費支出	75,134,000	72,419,151	2,714,849	
	職員給料	26,123,000	25,601,880	521,120	
	職員諸手当	18,918,000	18,102,540	815,460	
	嘱託報酬	9,486,000	9,462,966	23,034	
	臨時職員給料	7,404,000	7,403,690	310	
	臨時職員諸手当	439,000	400,792	38,208	
	社会保険料支出	10,367,000	9,174,648	1,192,352	
	福利厚生費	98,000	95,469	2,531	
	負担金	1,804,000	1,803,500	500	
	旅費	495,000	373,666	121,334	
	2 事務費支出	10,121,000	9,898,630	222,370	
	報酬	1,080,000	1,080,000	0	
	交際費	40,000	5,400	34,600	
	需用費	1,148,000	1,136,657	11,343	
	役務費	1,848,000	1,847,265	735	

委託料	2,340,000	2,335,345	4,655	
使用料及び賃借料	2,488,000	2,471,650	16,350	
負担金	292,000	138,200	153,800	
資料購入費	400,000	399,948	52	
公租公課	415,000	414,165	835	
繰出金	70,000	70,000	0	
2 事業費支出	21,314,000	20,452,639	861,361	
1 普及促進事業費支出	12,065,000	11,389,859	675,141	
報償費	385,000	379,294	5,706	
一般需用費	3,874,000	3,790,773	83,227	
役務費	2,317,000	2,174,982	142,018	
委託料	5,069,000	4,883,830	185,170	
使用料及び賃借料	420,000	160,980	259,020	
2 資料管理事業費支出	1,769,000	1,744,313	24,687	
一般需用費	708,000	694,771	13,229	
役務費	15,000	3,703	11,297	
委託料	1,046,000	1,045,839	161	
3 情報提供システム事業費支出	4,280,000	4,251,036	28,964	
一般需用費	1,000	0	1,000	
委託料	1,544,000	1,538,503	5,497	
使用料及び賃借料	2,735,000	2,712,533	22,467	
4 受託事業支出	3,200,000	3,067,431	132,569	
報償費	10,000	5,184	4,816	
一般需用費	105,000	96,614	8,386	
役務費	2,380,000	2,346,486	33,514	
委託料	75,000	55,759	19,241	
使用料及び賃借料	300,000	274,268	25,732	
旅費	330,000	289,120	40,880	
3 施設管理費支出	21,873,000	21,697,719	175,281	
1 施設管理運営事業費	15,491,000	15,367,307	123,693	
需用費	8,561,000	8,560,329	671	
役務費	187,000	148,922	38,078	
委託料	6,012,000	5,929,572	82,428	
使用料及び賃借料	731,000	728,484	2,516	
2 実篤公園管理事業費	6,382,000	6,330,412	51,588	
委託料	6,382,000	6,330,412	51,588	
事業活動支出計 (B)	128,442,000	124,468,139	3,973,861	
事業活動収支差額 (C) 《(A) - (B)》	50,000	4,836,311	△ 4,786,311	

II 投資活動収支の部

(投資活動支出)

(単位：円)

大	科 目 中	予算額	決算額	差異	備考
1	投資活動収入	0	0	0	
2	投資活動支出	0	0	0	
	投資活動収支差額 (D)	0	0	0	

Ⅲ 財務活動収支の部

(財務活動支出)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	財務活動収入	0	0	0	
2	財務活動支出	0	4,703,742	△ 4,703,742	
	1 返還金	0	4,703,742	△ 4,703,742	
財務活動収支差額 (E)		0	△ 4,703,742	4,703,742	

Ⅳ 予備費支出

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	予備費支出 (F)	50,000	0	50,000	

当期収支差額 (C+D+E-F)	0	132,569	△ 132,569	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	132,569	△ 132,569	

2 特別会計

Ⅰ 事業活動収支の部

(事業活動収入)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	自主事業収入	7,375,000	7,703,633	△ 328,633	
	1 自主事業収入	50,000	2,000	48,000	
	2 物品販売事業収入	6,450,000	7,271,091	△ 821,091	
	3 諸収入	574,000	430,508	143,492	
	4 利子収入	1,000	34	966	
	5 繰入金	300,000	0	300,000	
事業活動収入計 (A)		7,375,000	7,703,633	△ 328,633	

(事業活動支出)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	自主事業費支出	7,375,000	6,567,369	807,631	
	1 積立金支出	10,000	0	10,000	
	2 物品販売事業費支出	6,470,000	5,985,030	484,970	
	消耗品費	180,000	171,093	8,907	
	商品仕入費	5,327,000	4,902,538	424,462	
	著作権使用料	120,000	109,937	10,063	
	役務費	150,000	132,530	17,470	
	委託料	100,000	99,630	370	
	広告宣伝費	120,000	96,581	23,419	
	公租公課	473,000	472,721	279	
	3 自主事業費	895,000	582,339	312,661	

事業活動支出計 (B)	7,375,000	6,567,369	807,631	
事業活動収支差額 (C) 《(A) - (B)》	0	1,136,264	△ 1,136,264	

II 投資活動収支の部

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	投資活動収入	0	0	0	
2	投資活動支出	0	0	0	
	投資活動収支差額 (D)	0	0	0	

III 財務活動収支の部

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	財務活動収入	0	0	0	
2	財務活動支出	0	0	0	
	財務活動収支差額 (E)	0	0	0	

IV 予備費支出

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	予備費支出 (F)	0	0	0	

当期収支差額 (G) 《C+D+E-F》	0	1,136,264	△ 1,136,264	
前期繰越収支差額 (H)	0	3,396,973	△ 3,396,973	
次期繰越収支差額 (G+H)	0	4,533,237	△ 4,533,237	

平成29年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
正味財産増減計算書
 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

事業全体

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
1 経常収益				
補助金等	85,255,000	75,134,000	10,121,000	
人件費補助金収入	75,134,000	65,205,000	9,929,000	
事務費補助金収入	10,121,000	9,929,000	192,000	
指定管理料	31,904,000	35,873,000	△ 3,969,000	
指定管理料	31,904,000	35,873,000	△ 3,969,000	
受託事業収入	9,882,000	5,566,000	4,316,000	
受託事業(実篤公園日常管理)	6,382,000	5,566,000	816,000	
受託事業(展覧会受託)	3,500,000	0	3,500,000	
利用料金収入	1,843,112	812,860	1,030,252	
利用料	1,616,300	686,500	929,800	
頒布料	226,812	126,360	100,452	
諸収入	420,338	408,324	12,014	
事業参加費	99,630	70,390	29,240	
友の会会費	105,000	81,500	23,500	
雑収入	211,248	247,079	△ 35,831	
利子収入	4,460	9,355	△ 4,895	
繰入金	0	0	0	
自主事業収入	7,703,633	3,645,303	4,058,330	
自主事業収入	2,000	7,200	△ 5,200	
物品販売事業収入	7,271,091	3,264,145	4,006,946	
諸収入	430,508	373,936	56,572	
利子収入	34	22	12	
繰入金	0	0	0	
経常収益計(A)	137,008,083	121,439,487	15,568,596	
2 経常費用				
管理費	82,317,781	65,994,665	16,323,116	
人件費	72,419,151	56,711,708	15,707,443	
職員給料	25,601,880	17,967,600	7,634,280	
職員諸手当	18,102,540	13,597,819	4,504,721	
嘱託報酬	9,462,966	9,440,593	22,373	
臨時職員給料	7,403,690	6,693,010	710,680	
臨時職員諸手当	400,792	174,561	226,231	
社会保険料支出	9,174,648	7,106,647	2,068,001	
福利厚生費	95,469	67,896	27,573	
負担金	1,803,500	1,443,500	360,000	
旅費	373,666	220,082	153,584	
事務費	9,898,630	9,282,957	615,673	
報酬	1,080,000	585,000	495,000	
交際費	5,400	1,500	3,900	
需用費	1,136,657	1,266,142	△ 129,485	
役務費	1,847,265	1,831,170	16,095	
委託料	2,335,345	2,265,200	70,145	

使用料及び賃借料	2,471,650	2,357,168	114,482
負担金	138,200	153,000	△ 14,800
資料購入費	399,948	399,998	△ 50
公租公課	414,165	353,779	60,386
繰出金	70,000	70,000	0
事業費	20,452,639	21,746,611	△ 1,293,972
普及促進事業費	11,389,859	10,358,280	1,031,579
報償費	379,294	292,722	86,572
一般需用費	3,790,773	3,726,170	64,603
役務費	2,174,982	2,100,705	74,277
委託料	4,883,830	4,098,183	785,647
使用料及び賃借料	160,980	140,500	20,480
資料管理事業費	1,744,313	7,148,575	△ 5,404,262
一般需用費	694,771	989,895	△ 295,124
役務費	3,703	4,803,529	△ 4,799,826
委託料	1,045,839	1,355,151	△ 309,312
情報提供システム事業費	4,251,036	4,239,756	11,280
一般需用費	0	0	0
委託料	1,538,503	1,216,080	322,423
使用料及び賃借料	2,712,533	3,023,676	△ 311,143
受託事業費（展覧会受託）	3,067,431	0	3,067,431
報償費	5,184	0	5,184
一般需用費	96,614	0	96,614
役務費	2,346,486	0	2,346,486
委託料	55,759	0	55,759
使用料及び賃借料	274,268	0	274,268
旅費	289,120	0	289,120
施設管理費	21,697,719	18,573,626	3,124,093
施設管理運営事業費	15,367,307	13,030,718	2,336,589
需用費	8,560,329	8,291,291	269,038
役務費	148,922	148,609	313
委託料	5,929,572	3,862,334	2,067,238
使用料及び賃借料	728,484	728,484	0
実篤公園管理事業費	6,330,412	5,542,908	787,504
委託料	6,330,412	5,542,908	787,504
自主事業費	6,567,369	2,895,359	3,672,010
積立金	0	0	0
物品販売事業費	5,985,030	2,623,861	3,361,169
消耗品費	171,093	119,211	51,882
商品仕入費	4,902,538	1,927,223	2,975,315
著作権使用料	109,937	65,464	44,473
役務費	132,530	68,332	64,198
委託料	99,630	0	99,630
広告宣伝費	96,581	119,328	△ 22,747
公租公課	472,721	324,303	148,418
自主事業費	582,339	271,498	310,841
経常費用計 (B)	131,035,508	109,210,261	21,825,247
評価損益等調整前当期経常増減額	5,972,575	12,229,226	△ 6,256,651
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額 (C) 《 (A) - (B) 》	5,972,575	12,229,226	△ 6,256,651
2 経常外増減の部			
1 経常外収益			

	経常外収益計	0	0	0
2	経常外費用			
	その他経常外費用	0	0	0
	予備費	0	0	0
	経常外費用計	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0
	返還金	△ 4,703,742	△ 11,479,282	6,775,540
	当期一般正味財産増減額	1,268,833	749,944	518,889
	一般正味財産期首残高	3,396,973	2,647,029	749,944
	一般正味財産期末残高 (D)	4,665,806	3,396,973	1,268,833
II	指定正味財産増減の部			
1	寄付金	70,000	70,000	0
	寄付金	70,000	70,000	0
	当期指定正味財産増減額	70,000	70,000	0
	指定正味財産期首残高	4,919,768	4,849,768	70,000
	指定正味財産期末残高 (E)	4,989,768	4,919,768	70,000
III	基本金増減の部			
	当期基本金増減額	0	0	0
	基本金期首残高	3,000,000	3,000,000	0
	基本金期末残高 (F)	3,000,000	3,000,000	0
IV	正味財産期末残高 (G) 《 (D) + (E) + (F) 》	12,655,574	11,316,741	1,338,833

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 資産の部				
1 流動資産				
1 現金預金	28,896,759	31,888,471	△ 2,991,712	
小口現金	74,982	40,991	33,991	
普通預金	24,109,718	27,135,770	△ 3,026,052	
定期預金	4,712,059	4,711,710	349	
2 未収金	206,867	258,591	△ 51,724	
3 商品	1,052,815	923,750	129,065	
4 仮払金	232,592	70,000	162,592	
流動資産合計	30,389,033	33,140,812	△ 2,751,779	
2 固定資産				
1 基本財産				
投資有価証券	2,995,202	3,000,000	△ 4,798	
基本財産合計	2,995,202	3,000,000	△ 4,798	
2 その他固定資産				
リース資産	10,343,248	8,267,104	2,076,144	
その他固定資産合計	10,343,248	8,267,104	2,076,144	
固定資産合計	13,338,450	11,267,104	2,071,346	
資産合計	43,727,483	44,407,916	△ 680,433	

II 負債の部				
1 流動負債				
1 未払費用	18,714,901	23,777,841	△ 5,062,940	
2 預り金	1,153,760	399,030	754,730	
3 未払消費税等	455,200	351,300	103,900	
4 未払法人税等	404,800	295,900	108,900	
5 リース債務	10,343,248	8,267,104	2,076,144	
流動負債合計	31,071,909	33,091,175	△ 2,019,266	
負債合計	31,071,909	33,091,175	△ 2,019,266	
III 正味財産の部				
1 基本金				
1 基本金	3,000,000	3,000,000	0	
2 指定正味財産				
1 寄付金	4,989,768	4,919,768	70,000	
指定正味財産合計	4,989,768	4,919,768	70,000	
3 一般正味財産				
1 代替基本金	0	0	0	
2 その他一般正味財産	4,665,806	3,396,973	1,268,833	
一般正味財産合計	4,665,806	3,396,973	1,268,833	
正味財産合計	12,655,574	11,316,741	1,338,833	
負債及び正味財産合計	43,727,483	44,407,916	△ 680,433	

財産目録

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科目	目的等	金額	備考
I 資産の部			
1 流動資産			
1 現金預金		28,896,759	
小口現金		74,982	
普通預金	三井住友銀行つつじヶ丘支店	19,887,112	
	みずほ銀行調布仙川支店	4,222,606	
定期預金	三井住友銀行つつじヶ丘支店	4,712,059	
2 未収金		206,867	
3 商品		1,052,815	
4 仮払金		232,592	
流動資産合計 (A)		30,389,033	
2 固定資産			
1 基本財産			
投資有価証券	SMBC日興証券(株) 大阪府公募 公債(5年) 第145回	2,995,202	
2 その他固定資産			
リース資産	業務用PC、コピー機等	10,343,248	
固定資産合計 (B)		13,338,450	
資産合計 (C) 《(A) + (B)》			43,727,483
II 負債の部			
1 流動負債			
1 未払費用		18,714,901	
	管理費支出21件	4,810,795	
	事業費支出36件	7,513,964	
	施設管理費支出13件	1,450,354	
	自主事業費支出6件	236,046	
	市への返還金	4,703,742	
2 預り金		1,153,760	
	社会保険料 2,3月分	1,102,160	
	市民税 3月分	51,600	
3 未払消費税等		455,200	
4 未払法人税等		404,800	
5 リース債務		10,343,248	
	事業用PC、コピー機等	10,343,248	
流動負債合計 (D)		31,071,909	
負債合計 (E)			31,071,909
正味財産合計 (F) 《(C) - (E)》			12,655,574

平成29年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法によっている。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

監査報告書

平成30年4月25日

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

理事長 武者小路 知行 様

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

監事 新井 七吾

監事 源後 哲郎

私たちは、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第26条及び関連法令に基づき、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度における業務監査及び会計監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、会計帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表などの適正性を確認した。
- (2) 業務監査について、理事会等に出席し、運営状況を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を確認した。

2 監査意見

- (1) 事業報告は妥当であり貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準及び関係法令並びに、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款及び会計規程に従い、法人の財産及び収支の状況を正しく表示しているものと認める。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

(注) 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当財団が別途保管しております。

1 はじめに

調布市武者小路実篤記念館（以下「実篤記念館」という。）は、昭和51年4月に武者小路実篤が死去した後、武者小路家より寄贈された愛蔵の美術品、遺品、図書等を基にして、文学、美術、演劇、思想など幅広い分野にわたり活躍した武者小路実篤の生涯を偲ぶとともに、「武者小路実篤の業績を顕彰し、広く市民の教養、文化の向上に寄与するため」という設立理念を掲げ、武者小路実篤生誕100年に当たる昭和60年10月に、調布市実篤公園（旧実篤邸を含む。以下「実篤公園」という。）に隣接する地に開館しました。

展示、普及活動を始め、資料整理、保存、調査、研究活動等の活動を行う中で、小規模ながらも充実した内容の事業を提供して参りました。これまで広く全国各地から多くの方々が来館されるとともに、各方面からも高い評価をいただいて参りました。

平成30年度は、平成26年度に当財団が実篤記念館の指定管理者となってから5年間の指定期間の最終年となります。指定管理者としての4年間は効率的な組織体制の構築に努めるとともに、展示・普及活動を中心に、身近で、親しみのある教育、文化、芸術の場としての役割を果たして参りました。今後も市民が広く誇り得る文化の拠点の一つとして、良質で魅力ある事業を積極的に展開して参ります。

平成29年度に実施したオンラインゲームとのコラボレーション企画や独自ツイッターでの情報発信、外部の美術館での企画・展示協力などにより新しい利用者を獲得したことから、その関心を継続することに注力するとともに、学校との連携では実篤と記念館に親しむ機会となる博学連携プログラムやその活用方法など、次代を担う層へのアプローチを今後も積極的に行って参ります。

平成30年度は、11月に新しき村が創立100周年を迎えることから、平成29年度から取り組んでいる調査と記録をさらに進め、特別展などで顕彰して参ります。

施設管理では、二酸化炭素消火設備のガス弁の改修が3箇年計画の最終年となり、隔年で実施している作品・資料の収蔵環境調査を実施するほか、空調の除湿機能向上のため市が実施する整備工事に協力します。また、引き続き経年劣化が進む施設や設備の維持・点検を行い、市と連携を図りながら必要な修繕を実施します。

平成25年4月に実篤記念館の設立理念に基づき、事業の円滑化、効率化及び継続性を図るために「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館」（以下「財団」という。）が設立されてから、平成30年度で6年目となります。また、平成26年4月からは事業運営と施設の管理運営を一体的に担う調布市の指定管理者制度が導入され、当財団が指定管理者となり、5年目となる平成30年度は指定管理者の最終年度として、5年間の集大成と次期指定管理者業務のための計画づくりとともに、あらためて選定への対応をして参ります。更に、実篤公園について日常管理を調布市より引き続き受託します。実篤記念館と実篤公園を効率的かつ有効的に管理運営することにより、利用者の立場に立った運営に心がけ、施設の維持管理を通して安全で快適な環境を整え、更なる市民サービスの向上を図って参ります。

財団は、行政を補完する公益的な法人としての責務を果たし、より安定性及び継続性のある効率的な管理・運営体制を構築するために、次のとおり事業目標を設定するとともに、組織・運営体制を強化し、積極的な事業展開をして参ります。

<事業目標>

1 武者小路実篤の顕彰

年8回の展示事業、武者小路実篤及び周辺資料の積極的な収集、整理、保存及び調査研究を継続的に実施します。

2 実篤記念館のブランド化（日本で唯一の実篤研究の情報収集発信基地）

武者小路実篤の顕彰をベースに、「情報収集発信基地」としての機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤、白樺、新しき村の研究施設」を目指します。

3 次代を担う子どもたちへのアプローチと利用の拡大

学校教育において活用しやすいメニューの開発と提供など、子どもたちへの積極的な働きかけにより、未来の来館者の育成と人間愛・郷土愛を育む取組を実施します。

4 実篤記念館と実篤公園を活用した事業展開

実篤記念館及び実篤公園について、より効率的で効果的な運営体制の構築を目指し、実篤公園と一体となった事業展開や動線の改善など、相乗的な魅力の向上を図ります。

5 新しき村創立100周年関連事業の展開

武者小路実篤が、人間が人間らしく生きられる社会の実現を志して設立し、平成30年11月に創立100周年を迎える新しき村に関して、展覧会、普及事業等、事業全般にわたり、様々な記念事業を展開します。

<組織・運営目標>

1 財団の安定した組織づくり並びに組織の透明性及び信頼性の向上を図るとともに、効率的で効果的な運営に努めます。

2 実篤記念館が目指す将来像（事業目標）を実現するための事業について、継続性を持って実行します。

3 安定した法人運営を行うために、職員の人材育成を促進します。

4 財団としての特徴と独自性を活かし、事業の幅と奥行きを広げることにより、全ての市民が利用できる施設として、来館者一人一人が満足してもらえるサービスを提供します。

5 財団は中期・長期的な展望に立ち、実篤記念館の新たな時代に向けた計画づくりを進めます。

2 基本方針

(1) 事業運営の基本方針

当財団では、実篤記念館を拠点として、「武者小路実篤の業績を顕彰し、広く市民の教養、文化の向上に寄与する」という設置目的を達成するとともに、また、市民の誇れる文化施設として地域の魅力向上に貢献するために、「武者小路実篤を核とした特色ある事業」を展開し、利用の促進を図ります。

実篤記念館では、文学、美術、演劇並びに新しき村と、幅広い分野にわたる活動及び日本近代文学・美術を代表する作家や画家たちとの交流など、武者小路実篤の多面的な魅力を存分に発揮するように様々な事業を企画して参ります。このように、事業全般にわたり「敷居は低く

(気軽に参加)、間口は広く(幅広いジャンルからのアプローチ)、奥行きは深く(専門的な内容にも対応)」を指針として、「何度でも行きたくなる実篤記念館」を目指し、リピーターの獲得と積極的な広報活動により認知度を高め、新規利用者の開拓を図りながら、良質な事業の提供に取り組んで参ります。

また、武者小路実篤が作品を通して広く伝えてきた「個性を生かし、互いを認めあう」ことは普遍的なものであり、現代においても重要なメッセージとして多くの人々に共感を呼ぶものです。時代を超えた実篤の多くのメッセージを若い世代に伝えるため、学校との連携事業や夏休み企画などの事業で工夫を重ねて紹介し、体験や身近に感じる機会を増やしていくことで未来の来館者を育成して参ります。

貴重な財産を後世に継承するために、事業の根幹となる資料収集と、収集した貴重な資料を良好な状態で管理するために不可欠な整理・保存事業を進めるとともに、収蔵品データベースの充実を図り、広く資料情報の公開に努めます。

調査・研究事業では、武者小路実篤の顕彰をベースに、「情報収集発信基地」としての機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤・白樺・新しき村の研究施設」を目指します。

これらは、当財団が32年間にわたり培ってきた専門的な知識、経験と実績のほか、武者小路家を始めとした関係者(機関)の信頼と協力をもとに進めることができ、今後も各方面から当財団に寄せられる期待や信頼に応えられるように事業運営を行って参ります。

(2) 施設の管理運営の基本方針

実篤記念館は、芸術鑑賞施設であることから、子どもから高齢者まで様々な利用者が訪れるため、安全で快適な、環境に配慮した施設の運営管理に取り組み、施設機能を十分に発揮した事業活動が円滑に展開できる環境づくりに努めます。

実篤記念館の維持管理業務に当たっては、施設の維持保全及び人命の尊重に十分注意を払い、実篤記念館指定管理業務仕様書に示された水準を確保し、安全・快適・清潔な施設の維持管理を行います。

更に、開館から32年を経て、施設・設備の経年劣化による修繕や改修工事が必要なケースが多く発生してきています。このため、利用者の安全性や快適性、必要な収蔵環境を維持するために、維持管理及び修繕に努めて参ります。

アンケート等により利用者のニーズを把握するとともに、ニーズへの的確な対応を図り、事業や施設の管理運営、利用者の満足度アップや利用促進に反映して参ります。

調布市より平成26年度から受託した実篤公園の日常管理を引き続き担って参ります。実篤公園は、国分寺崖線にあることから、湧水と武蔵野の自然を残しており、また、旧実篤邸は実篤が実際に生活していた場として、多くの利用者に関心を持つ施設です。実篤記念館と実篤公園・旧実篤邸が相乗し合うことで、より一層の魅力を高めていきます。

(3) 法人運営の基本方針

安心して利用できる施設として、利用料金を始めとする事業収入の安定確保に努めるとともに、利用者へのサービスと事業の質が低下することがないように、効率的・効果的な事業運営を行うことで、経費の抑制に努めて参ります。

また、指定管理者として実篤記念館を運営するに当たり、経営努力により生み出された利益を、実篤記念館の展示事業を始めとする基幹事業に活用することにより、市民及び利用者還元し、

満足度を高めて参ります。

更に、法人運営を遂行するための人材育成については、職員一人一人のスキルアップを図るとともに、財団内の研修の実施などにより、ベテラン職員から若手職員へ知識や技術の継承を進め、専門分野となる事業、および施設管理、法人経営の研修等に積極的に参加し、業務の資質向上が図れるよう職員の育成に努めます。

3 平成30年度重点事業

平成29年度に実施したオンラインゲームとのコラボレーション企画では、これまでの実篤記念館の利用者には少なかった若い女性が多く訪れ、武者小路実篤と白樺派に対する新たな関心を掘り起こすことが出来ました。また、独自ツイッターでの情報発信や、全国規模で事業展開する外部機関へ当財団が講師を派遣したことなどによる効果が現れ、遠隔地からの来館者が増えています。こうした機会を捉え、新しい利用者層へのアプローチを展開するとともに、そのニーズを捉え、将来にわたり関心と利用が継続出来るよう、取り組んで参ります。

また、学校と連携して実篤と記念館に親しむ機会を作るとともに、当館のもつ豊富な作品・資料や情報を学校の教育活動に活かして子どもたちに幅広い経験と学習の機会を提供して参ります。更に、地域の博物館である実篤記念館と学校が協力することにより郷土愛を育むための、博学連携プログラムやその活用体制づくりなど、次代を担う層へのアプローチを積極的に行って参ります。

実篤が人間が人間らしく生きられる社会の実現を志して大正7（1918）年に設立した新しき村が、平成30年11月に100周年を迎えます。平成29年度から着手している資料調査や記録を進め、特別展や移動展での顕彰や、映像や発行物などでその成果を市民に提供して参ります。

これまで以上に、実篤や記念館が身近に感じられる情報を発信するために、独自ツイッターを積極的に活用して参ります。また、日向新しき村がある宮崎県児湯郡木城町教育委員会の新しき村100周年事業への協力を始めとした関連機関・施設との協力事業を実施し、実篤記念館に足を運んだことのない方々に対して実篤記念館を周知し、実篤の魅力を伝える機会を増やして参ります。

その活動の基礎となる、開館以来、実篤記念館が進めてきた展示、普及、収集、調査研究等の事業を通して得られた作品、資料及び情報、そして、武者小路家を始め関係者及び関係機関との協力を通して信頼を深めてきた有形、無形の財産を活用した事業を引き続き推進します。

（1）展示・普及事業

年2回の特別展と6回の企画展、およびたづくり展示室での移動展を開催します。特別展は春に「誰でも画はかける～小池邦夫がえらぶ武者小路実篤の書画～」を、新しき村創立100周年を記念して秋には「新しき村の100年」と、たづくり移動展「新しき村美術展」を開催します。また、日向新しき村がある宮崎県児湯郡木城町教育委員会が開催する「新しき村100周年記念事業特別展示」の企画、展示の協力と監修を受託します。

更に、郷土博物館との協力事業として、夏休みの子どもむけ事業の案内印刷物を共同で作成・配布するなど、様々な協力事業を展開します。

学校教育との連携では、従来の学校図書館への出張展を始め、アクティブラーニング、文学・美術鑑賞教育、様々な体験授業、読書学習、自然観察、道徳教育等、多岐にわたる方向から武者小路実篤や実篤記念館の持っている魅力を伝え、活用していただくために、博学連携プログラムの作成とその体制づくりを更に進めます。特に市内の実篤記念館から遠距離にある学校でも、プログラムを活用していただくことで、武者小路実篤に親しむ機会を増やし、未来の利用者につなげて参ります。

また、独自ツイッターの運用や、他館や各種団体からの要望に応じて実篤の魅力を伝える講座への講師派遣を積極的に展開します。引き続き、多摩川流域自治体交流「イベントラリー」に参加し、自治体間連携を深めながら広く情報発信するとともに、実篤記念館の魅力を体感してもらう機会とするなど、調布市の関係部署や他の市区町村との連携を通して、より広く実篤記念館の事業活動の普及に努め、認知度を高めます。

(2) 学校教育との連携事業・ボランティア事業

平成27年度から夏休み事業の一部に中学生によるボランティア活動を導入しています。平成30年度は更に子どもや若者の社会参加や協働を進めることを目的として、中学生のみならず高校生、大学生のボランティア参加に向けて、市内全域の中学校に加え、高等学校、大学などに積極的な働きかけを行って参ります。

(3) 調査・研究事業

平成30年に創立100周年を迎える「新しき村」について、29年度から2箇年にわたり、現在の活動を映像で記録撮影するのを始め、関係資料の悉皆調査、関係者への聞き取り調査を行い、秋の特別展「新しき村の100年」でその成果を市民に提供します。また実篤の主要な活動の一つである新しき村に関する記録を集積し、後世へ伝えるため図録等にまとめます。

平成29年度に白樺同人・長与善郎のご遺族から借用した関連資料の整理と調査を進め、平成31年度を目途に特別展を開催できるように努めて参ります。

(4) 施設管理事業

施設・設備の経年劣化による各種の不具合が発生しているため、利用者の安全性、快適性を維持するとともに、所蔵している武者小路実篤関連の資料や作品を、永く後世に伝えていくための展示及び保存環境を確保し、利用者が良好な状態のもとで鑑賞できるように、施設や設備の日常管理に努めます。

平成30年度は、二酸化炭素消火設備のガス弁の取替えを3箇年計画の最終年として実施するのを始め、作品・資料の収蔵環境を把握するために隔年で行っている環境調査を実施します。また、来館者の安全を確保するため、記念館展示室床の木タイルの目地修繕を実施します。更に、展示室・閲覧室、地下収蔵庫の空調については、市が実施する湿度の調整機能を高める改修工事に協力します。

実篤記念館の案内サインについては、公共サイン調査の結果に基づき、引き続き、優先順位を付けて調布市公共サイン整備ガイドラインに基づき、デザインの統一を図り、英文表記も加えて計画的に整備を進め、利用者に分かりやすい案内サインにして参ります。

更に、利用者と職員の安全確保と、収蔵品を保護するために、職員全員が参加する防災訓練を調布消防署の立会の下で実施して参ります。

(5) 財団運営

平成28年度、平成29年度に実施した様々な協力事業を通して得られた市内関連施設や学校、地域、周辺の文化施設等とのつながりを大切にしながら、館の外に出て行き、学校や地域、市内外の関連機関との協力事業を進めるため、中長期的な展望を持った事業計画の作成に努めます。

また、平成30年度は第一期指定管理者の最終年にあたり、これまでの事業内容を踏まえ、第二期指定管理業務の選定にむけて、良好な事業運営と施設管理に基づく安定した、財団運営となるように、次の指定管理期間における基本計画の作成を進めて参ります。

人材育成では、若手職員のスキルアップを図るために、館内で専門的な勉強会を始め、事業係と総務係の相互の業務理解を深める機会をつくることで、少人数でも相互補完により安定的で継続的なサービスを提供できる組織体制を目指して組織の強化を図ります。また、郷土博物館との協力事業や、その他の関連機関が実施する事業と関わりを深めるとともに、外部研修として会計事務、施設管理、ミュージアムマネジメントなどにも積極的に参加し、職員の能力の向上を図って参ります。

4 事業内容

(1) 展示事業

実篤記念館では年間を通じて常設展示とせず、文学・美術・演劇・思想と幅広い武者小路実篤の活動を、分かりやすく理解されるよう多角的に紹介し、魅力ある展示事業を目指します。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	展示事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 幅広い武者小路実篤の活動を紹介していくために多角的なテーマを設け、実篤記念館の充実した収蔵品を紹介し、いつでも新しい発見がある展示作りを目指します。 関係機関、協力者等との協力を深めながら、年2回の特別展、6回の企画展、移動展等を開催します。</p> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春の特別展「誰でも画はかける～小池邦夫がえらぶ武者小路実篤の書画」 ・新しき村創立100周年記念特別展「新しき村の100年」 ・企画展6回 ・移動展「新しき村美術展」(仮)(たづくり展示室) <p style="text-align: right;">*詳細は別紙のとおり</p>	4,111
2	外部展示事業 (受託事業)	<p>【対象】 一般</p> <p>【事業概要】 幅広い武者小路実篤の活動や、実篤記念館の多岐にわたる収蔵品を、広く紹介していくために、実篤記念館以外の文学館・美術館等で開催する展覧会の企画・構成や展示協力を受託します。</p> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県木城町「日向新しき村100年」(仮)(11月)の開催にあたり、展覧会の企画・構成、解説パネルの作成、展示監修等を行う。 	325

(2) 普及事業

普及事業を通して武者小路実篤についてより理解を深め、身近で、親しみのある教育、芸術・文化の場、「地域の人々が気軽に学ぶ場」を提供して参ります。

また、市民の誇りとなる「武者小路実篤を核とした特色ある事業」を積極的に展開します。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	講演会・講座等 事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 講演会をはじめ各種講座を開催し、「武者小路実篤を核とした特色ある事業」として、幅広い世代に対し良質な普及事業を提供し、身近で、親しみのある教育、芸術・文化の場、また市民の誇りとなるような事業を展開します。</p> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実篤記念館から外へとつながる普及事業を積極的に展開し、市内施設や他団体等との共催事業や出前事業を実施します。 ・多摩川流域自治体交流「イベントラリー」に参加し、広く情報を発信し、実篤記念館の魅力を体感してもらう機会とする。 ・好評の読書講座、自然観察会、美術講座等の開催 ・アンケート調査の実施により、受講者の開拓、事業内容の充実を図る。(通年) ・桐朋学園大学、東部公民館等の地域施設や地元仙川商店街等地域と連携した事業に取り組む。(通年) ・展覧会ごとに各2回の展示解説を開催。(通年) ・団体利用者に対する解説を実施。(通年) ・郷土博物館や市内施設及び近隣美術館等で事業連携を深め、実篤と実篤記念館の認知度を高める。(通年) ・他機関の事業活動に協力し、講師を務めるなどの機会をとおして、実篤や記念館事業の普及に努める。(通年) ・創立100周年(平成30年11月)を迎える新しき村の記録映像撮影と編集を行い、作品完成上映会を開催。(通年) 	2,423
2	学校教育との連携事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市内小・中学校</p> <p>【事業概要】 実篤記念館が持つ文学、美術、自然、情報等の様々な要素を活用して、小・中学生を対象とした「調べ学習」、「創作」「芸術鑑賞」を中心としたキッズプログラムの充実に取り組み、武者小路実篤や実篤記念館に親しむ機会を増やし、様々な広報を通して、身近にある教育・文化施設としての認知度を高め、利用促進を図ります。</p> <p>事業を通して、子供たちに多様な体験を提供し、幼い頃から芸術・文化に触れることにより、子どもたちの感性を磨き、</p>	800

		<p>自身で考える力，豊かな心の育成に努めます。</p> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み講座，夏休み自由研究サポートをさらに充実した内容で開催 ・「調べ学習」，「創作」，「芸術鑑賞」等のキッズプログラムの充実（通年） ・学校図書館へ，実篤関連資料や情報を提供する。（通年） ・学校での出張展示や出前講座を実施する。（通年） ・鑑賞教育，職場体験，訪問等の学校事業に協力する。（通年） ・学校で地域ゆかりの文化遺産である実篤と記念館に親しむ機会となる事業企画を推進し，博学連携プログラムや活用体制づくりを進め，より学校との連携を深める。 ・平成27年度から夏休み事業に導入している中学生ボランティアを更に進め，市内全域の中学校，高等学校，大学からのボランティア参加を広げるための環境を整備する。 	
3	ボランティア事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 市民，地域との連携を図る協力ボランティアの活動は，現在，幅広い普及活動を展開する上で大きな力となっており，充実した活動を進めます。</p> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティア導入の推進 ・ボランティア活動の充実を図るために，ステップアップ講座を開催 ・ボランティアによるガイドや普及事業の実施（通年） ・ボランティアによる「実篤に挑戦！」の実施（4月，8月） ・普及事業，環境整備のサポート活動（通年） ・ボランティアの活動環境を整備（通年） 	210
4	友の会事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 友の会事業は，実篤記念館と来館者を結ぶものであり，会員の増強に努め，会員に関連情報を提供する友の会ニュースを定期的に発行します。</p> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友の会ニュースの発行（年6回） 	100

5	広報事業 (指定管理事業)	<p>◎広報資料の作成，配布</p> <p>【対象】</p> <p>市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>実篤記念館事業について各方面に積極的な広報を実施し，財団の事業及び名称の認知度を高めます。</p> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展ポスター及びチラシの作成，配布（年2回） ・展示案内の作成，配布（年1回） ・企画展，講座等のミニポスター等の作成，配布（通年） ・館報の編集，配布（年2回） ・市報等への情報提供（通年） ・報道機関への情報提供と各種取材への対応（通年） 	1,120
		<p>◎印刷物編集・刊行事業</p> <p>【対象】</p> <p>市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>武者小路実篤の活動や所蔵資料を紹介する刊行物を編集及び刊行し，広く武者小路実篤への理解を深めます。</p> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展パンフレットを編集・刊行。（年2回） 	1,160
		<p>◎ホームページ</p> <p>【対象】</p> <p>市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>ホームページを運用することにより，広く武者小路実篤や実篤記念館事業を広報し，より多くの人に武者小路実篤の魅力や事業活動を周知し，認知度を高めます。</p> <p>【平成30年度】</p> <p>ホームページの内容の充実と迅速な情報提供に取り組み，より多くの方々に事業や実篤関連情報，事業記録等を周知するように運用する。また，調査・研究の成果を順次ホームページで公開する。</p> <p>平成29年に開設した独自ツイッターを効果的に利用し，実篤記念館と実篤関連情報を提供し，より広く情報を発信する。</p>	1,404
		<p>◎ぐるっとパス事業</p> <p>【対象】</p> <p>市民</p>	150

	<p>【事業概要】</p> <p>「東京・ミュージアムぐるっとパス2018」事業を通して、実篤記念館の活動を周知し、広報の充実に取り組みます。</p> <p>【平成30年度】</p> <p>東京の美術館・博物館等共通入館券実行委員会が主催する「東京・ミュージアムぐるっとパス2018」に参加して展覧会や事業の広報、普及に努める。</p> <p>(通年、ポスター・チラシ年2回発行)</p>	
--	--	--

(3) 資料収集・管理事業

所蔵資料の充実を図るための情報を集め、購入を始め収集に関わる業務を行い、また、美術品等の購入については市へ提案していくとともに、後世に貴重な作品・資料を伝えるための保存環境の管理に努め、所蔵資料が事業全般で活用できるように積極的に取り組みます。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	資料収集・管理事業 (指定管理事業/ 助成事業)	<p>【対象】</p> <p>市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>収集事業では、実篤記念館が事業の充実を図るために必要に応じて関係資料を収集しており、財団は収集に関する各種情報を集め収集業務を担います。また、美術品等の購入については市へ提案します。</p> <p>管理事業では、市の条例等を遵守し、資料の貸出し及び特別撮影等の申請受付、承認を行います。</p> <p>また、日常的に収蔵環境を把握し、適切な状態で収蔵するように努めます。</p> <p>【平成30年度】</p> <p>(1) 収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書画、原稿、書簡、図書、雑誌、写真、映像音声資料、その他関連資料の情報を集め、購入収集について市へ提案 ・図書、雑誌の購入作業を行い、市へ報告 ・寄贈、寄託受入手続きを行い、市へ報告 <p style="text-align: right;">(いずれも通年)</p> <p>(2) 資料管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な作品、資料の保存環境を管理し、環境整備が必要な場合は、市へ提案する。(通年) ・貴重な作品、資料のため動産保険加入手続き等を実施する。(通年) 	1,570

	<ul style="list-style-type: none"> ・作品，資料の利用申請，承認手続き及び貸出・返却に伴う作業を行う。（通年） ・作品，資料の特別撮影への対応を行う。（通年） 	
--	--	--

(4) 資料整理・保存事業

収集した資料を整理し，データベースへの入力作業，後世に貴重な作品・資料を伝えるための保存作業に努め，事業全般で活用できるように積極的に取り組みます。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	資料整理・保存事業 (指定管理事業)	<p>【対象】</p> <p>市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>資料整理・保存事業では，収集された作品・資料を速やかに整理し，収蔵品データベースへの入力作業を進めます。</p> <p>また，良好な状態で保存し，後世に貴重な作品・資料を伝えるように努め，収蔵品をより活用できるように積極的に取り組みます。</p> <p>【平成30年度】</p> <p>(1) 整理・保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵資料を整理し，状態把握に努め，良好に保存する。 (通年) ・収蔵品や関連資料の記録撮影，写真パネル等を整備する。 (通年) ・河野通勢関連作品・資料の整理，データ化を進める。 (通年) <p>(2) 所蔵作品・資料等の修復，複製制作等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所蔵作品・資料の適切な保存管理を図るため，資料状態の把握と計画的な修復作業を実施する。(通年) ・貴重資料の複製を制作し活用する。(通年) <p>(3) 収蔵品データベースの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実篤記念館が収蔵する作品・資料，武者小路実篤に関する情報の入力作業を進め，収蔵品データの充実を図るとともに，展覧会，レファレンス業務，収蔵品管理等に活用する。(通年) ・未整理収蔵資料をデータ化し，収蔵品情報の充実に努める。(通年) 	1,666

(5) 閲覧サービス・情報公開事業

所蔵資料の閲覧，武者小路実篤に関する問合せに対して調査回答するレファレンスサービスの向上と，情報提供システムの活用を通して，所蔵品や実篤に関する情報を広く公開して参ります。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	閲覧サービス 事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 武者小路実篤を始め、白樺、新しき村に関する資料や、近代文学・美術の図書を開架する閲覧室を中心に、資料の充実と活用の促進を図るとともに、更に実篤関連情報に関するレファレンス業務を行い、一層のサービス向上に努めます。</p> <p>【平成30年度】 (1) 一般閲覧 ・閲覧室における、閲覧・レファレンス業務、開架図書の管理、閉架図書の出納及び図書の紹介。(通年) ・展示室と閲覧室の休室が重なる日は、閲覧室を開室する。 (2) 特別閲覧 ・特別資料の閲覧・レファレンス業務(通年)</p>	65
2	情報公開事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 実篤記念館が収集した作品、資料、文字、画像、映像、研究情報、記録データ等を活用し、これらを収録した情報提供システム(収藏品データベース、情報閲覧システム、映像視聴システム、ホームページ)を運用し、多岐にわたる情報の公開に努め、利用の促進を図ります。</p> <p>【平成30年度】 ・情報提供システムの運用 新たに収集した作品、資料、文字、画像、映像、研究情報記録データ等の情報を、収藏品データベースをはじめとした情報提供システムに追加・更新し公開する。</p>	3,381

(6) 調査・研究事業

広く開かれた「武者小路実篤、白樺、新しき村」の情報収集発信基地となるべく、調査・研究に取り組み、その成果を事業全般にわたり活用を図って参ります。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	調査・研究事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 「武者小路実篤、白樺、新しき村」に関する情報収集発信</p>	265

	<p>基地としての役割を担い、特別展関連及び収蔵資料の調査を実施します。</p> <p>他の文学館、美術館や研究機関等の協力を得ながら、調査及び研究活動を進めることで、所蔵資料や関連資料の新たな情報を得て、作品・資料の利用価値を高めます。また、調査・研究で得た情報を事業に活用し順次公開していきます。</p> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しき村創立100年に向けた調査・研究（通年） ・武者小路実篤の作品発表に関する情報収集、記録、作品リストの充実（通年） ・河野通勢関連、作品・資料の調査（通年） ・白樺同人・長与善郎関係資料の調査（通年） ・他の機関の研究・事業活動への協力（通年） ・調査、研究成果をホームページで順次公開（通年）
--	---

(7) 自主事業

自主事業の中心となるミュージアムグッズの販売により、自主財源を増やして普及事業をサポートするとともに、武者小路実篤や実篤記念館の認知度アップを図って参ります。

市からの指定管理、受託事業以外に自主財源を増やし、自主事業に取り組み、より充実した事業を展開します。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	物品販売事業 (自主事業)	<p>【対象】</p> <p>市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>ミュージアムグッズ販売事業は、自主財源を増やすとともに、その収益を自主事業の充実や魅力あるミュージアムグッズづくりに充て、普及事業の更なる充実をサポートします。</p> <p>また、販売事業を通して、広く武者小路実篤や記念館事業を広報し、より多くの人に武者小路実篤や実篤記念館を周知し、認知度を高めます。</p> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムグッズの販売 ・魅力あるミュージアムグッズの開発 ・販売事業を通して、実篤、記念館の認知度を高める。 ・ミュージアムグッズコーナーのリニューアルを実施 	7,450
2	自主事業 (自主事業)	<p>【対象】</p> <p>市民</p>	1,375

	<p>【事業概要】</p> <p>調布市の指定管理事業以外に自主財源を増やし、事業の充実を図るために、自主事業に取り組みます。</p> <p>【平成30年度】</p> <p>(1) 広告料の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内看板下部の広告により、自主財源の確保を図る。(通年) <p>(2) 自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朗読ワークショップの開催 (年1回) ・観梅会の開催 (年1回) ・文化施設や団体、民間事業者と連携した自主事業 (通年) 	
--	--	--

(8) 施設管理運営事業

実篤記念館は「公共の施設」であり、芸術鑑賞施設であることを踏まえ、利用者の公平・平等性を確保するとともに、実篤記念館の設置目的を踏まえた適切な運営に努めます。

施設維持管理については、施設の維持保全、人命の尊重に十分注意を払い、安全・快適・清潔な施設の維持管理を行います。

また、実篤公園及び旧実篤邸の日常管理業務も行い、実篤記念館、実篤公園を一体的に管理することで、利用者がより快適に利用できるように努めます。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	実篤記念館施設 管理運営業務 (指定管理事業)	<p>【対象】</p> <p>市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>市の条例等に基づいて、利用者が公平かつ平等に利用できるように努めます。</p> <p>また、利用者の立場に立ち、安全かつ快適に利用しやすいように適切に管理します。</p> <p>開館 32 年を超え、施設・設備の経年劣化による不具合も発生しているため、必要な修繕を実施します。</p> <p>利用者の安全性、快適性、更に所蔵している武者小路実篤関連の資料・作品を、永く後世に伝えて行くための展示及び保存環境を確保し、利用者が良好な状態のもとで鑑賞できるよう、中長期的な視点から施設の不具合等の必要な修繕について市に提案する準備を進めます。</p> <p>【平成30年度】</p> <p>電気、空調設備等の施設及びこれに附帯する設備の操作、保守点検業務、維持管理保全や清掃、警備、施設設備の軽微な補修、施設運営の維持経費である公共料金の支払いを</p>	13,291

		<p>行います。(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵庫消火設備の二酸化炭素消火ガス弁の取替え改修(3箇年計画の最終年) ・収蔵環境を守るため展示室, 展示室や収蔵庫等の環境調査を実施(隔年実施) ・要望が高い駅, バス停から実篤記念館までの案内板を改修, 増設する。 ・展示室床の木タイルの目地修繕を実施 ・市が実施する, 展示室, 閲覧室, 地下収蔵庫の湿度を調整するための, 空調機改修工事に協力 	
2	<p>実篤公園日常管理業務 (受託事業)</p>	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>実篤公園は国分寺崖線にあり, 湧水と武蔵野の自然を残し, 旧実篤邸は実篤が実際に生活していた場として, 多くの利用者が関心を持つ施設です。実篤記念館は, 実篤公園と旧実篤邸の存在が相乗し合い, より一層の魅力を高めます。</p> <p>実篤公園及び園内の旧実篤邸の日常管理を行い, 利用者の立場に立ち, 安全かつ快適に利用しやすいように適切に管理します。</p> <p>また, 自然の保全, 公園施設の補修, 旧実篤邸の保存について, 市の対応が必要な場合は緑と公園課へ提案します。</p> <p>【平成30年度】</p> <p>実篤公園の日常管理及び旧実篤邸の公開業務のほか, 維持管理保全のため清掃, 警備を行う。(通年)</p>	6, 552

平成30年度調布市武者小路実篤記念館 展覧会日程

<展覧会日程>

◎春の特別展「誰でも画はかける」～小池邦夫がえらぶ武者小路実篤の書画～

会期：平成30年4月28日～6月3日

◎企画展「家族の肖像」

会期：平成30年6月16日～7月16日

◎夏休み企画「武者小路実篤入門」

会期：平成30年7月21日～9月2日

◎秋季展「書の世界」～愛蔵品と作品から～

会期：平成30年9月8日～10月8日

◎新しき村創立100周年記念特別展「新しき村の100年」

会期：平成30年10月20日～12月9日

◎企画展「実篤の足跡」～旅と転居の記録から～

会期：平成30年12月15日～平成31年1月27日

◎企画展「自筆原稿から見えること」

会期：平成31年2月2日～3月10日

◎春季展「鉛筆の表現」～スケッチと水彩画を中心に～

会期：平成31年3月16日～4月21日

★移動展（調布市文化会館たづくり 展示室）

新しき村創立100周年記念「新しき村美術展」

会期：平成30年11月3日～12月9日

平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

収支予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(事業活動収入)

(単位：千円)

科 目		予算額	前年度 当初予算額	増減	備 考
大	中				
1	補助金	86,505	85,255	1,250	
	1 人件費	76,337	75,134	1,203	
	2 事務費	10,168	10,121	47	
2	指定管理料	28,095	31,904	△ 3,809	
	1 指定管理料	28,095	31,904	△ 3,809	
3	受託事業収入	7,177	9,882	△ 2,705	
	1 受託事業(実篤公園日常管理)	6,552	6,382	170	
	2 受託事業(展覧会受託)	625	3,500	△ 2,875	
4	利用料	1,300	1,100	200	
	1 利用料	1,100	1,000	100	
	2 頒布料	200	100	100	
5	諸収入	351	351	0	
	1 事業参加費	100	100	0	
	2 友の会会費	100	100	0	
	3 雑収入	150	150	0	
	4 利子収入	1	1	0	
	5 繰入金	0	0	0	
6	自主事業収入	8,835	4,925	3,910	
	1 自主事業収入	50	50	0	
	2 物品販売事業収入	7,000	4,000	3,000	
	3 諸収入	484	574	△ 90	
	4 利子収入	1	1	0	
	5 繰入金	1,300	300	1,000	
事業活動収入計 (A)		132,263	133,417	△ 1,154	

(事業活動支出)

(単位：千円)

科 目		予算額	前年度 当初予算額	増減	備 考
大	中				
1	管理費	86,505	85,255	1,250	
	1 人件費	76,337	75,134	1,203	
	2 事務費	10,168	10,121	47	
2	事業費	17,030	21,314	△ 4,284	
	1 普及促進事業費	11,658	12,065	△ 407	
	2 資料管理事業費	1,666	1,769	△ 103	
	3 情報提供システム事業費	3,381	4,280	△ 899	
	4 受託事業費	325	3,200	△ 2,875	

3	施設管理費	19,843	21,873	△ 2,030
	1 施設管理運営事業費	13,291	15,491	△ 2,200
	2 実篤公園管理事業費	6,552	6,382	170
4	自主事業費	8,835	4,925	3,910
	1 積立金	10	10	0
	2 物品販売事業費	7,450	4,140	3,310
	3 自主事業費	1,375	775	600
5	予備費	50	50	0
	1 予備費	50	50	0
	事業活動支出計 (B)	132,263	133,417	△ 1,154
	事業活動収支差額 (C) 《 (A) - (B) 》	0	0	0

